

# hirosaki

「話題」と「笑顔」を届ける総合情報誌 広報ひろさき



## の景観計画

02

目次

弘前圏域台湾訪問団活動報告

03

特集

ぼくたちの景観計画

06

市政情報

- ◆弘前マイスターに5人認定
- ◆平成24年弘前市スポーツ賞
- ◆相馬庁舎リニューアルオープン
- ◆子育てスマイルアップ補助事業
- ◆引っ越しに伴う各種手続きほか

16

フォトコレ in ひろさき

弘前城雪燈籠まつり・弘前雪明り、鬼神社・しめ縄奉納裸参りほか

18

暮らしのinformation

イベント、教室など

Health Information

自殺予防～気づきつなぎ見守り～のために健康の掲示板

24

学生企画コーナー

もっと②♥弘前!!

読者のひろば

27

smile 通信

弘前図書館近着図書紹介  
食改さんおすすめレシピ  
さらっと一句・川柳

28

## 弘前圏域 台湾訪問団の 活動報告



←百貨店「大遠百」でのPRステージ

1月31日～2月3日の4日間、葛西市長を団長とした「弘前圏域台湾訪問団」が訪台しました。

当市はアップルマンゴーが特産品である台湾・台南市との間で、「アップル」つながりの果物交流事業を展開しています。昨年6月には台南市長や市議会議長を含む、約300人の台南市民で構成する訪問団が当圏域を訪問し、交流を深めました。

当市ではさらなる交流を促進すべく、「弘前圏域PRミッション団」と「弘前圏域観光客誘致促進ミッション団」に加え、圏域住民が参加する観光ツアー「日華友情の翼」で構成される「弘前圏域台湾訪問団」を結成、青森空港発着の直行チャーター便を利用した、総勢158人での訪台となりました。

団長を弘前市長、副団長を弘前市議会議長とする「弘前圏域PRミッション団」には、弘前圏域定住自立圏を構成する藤崎町、板柳町、田舎館村、西目屋村の町村長や、りんご



↑高雄市の旅行エージェントを訪問

関連事業者のほか、経済界、弘前大学も参加。台南市政府を表敬訪問し、今後の交流活性化などについて意見交換を行ったほか、百貨店「大遠百」でイベントを行い、りんごをはじめとする圏域の魅力を発信しました。

「弘前圏域観光客誘致促進ミッション団」には観光関連事業者のほか、青森県観光連盟、弘前観光コンベンション協会が参加。高雄市の訪日旅行を取り扱う主要旅行会社の本社などを訪問し、弘前圏域の観光素材をPRするとともに、同行した観光関係事業者も施設などをPRしました。さらに、4月中旬に教育旅行で当市を訪問する可能性がある高雄市立明華中学校と龍華小学校の校長を訪ね、農業体験などの提案を行うとともに、今後の交流促進について意見交換を行いました。

一方、「日華友情の翼」の参加者は、台南・高雄・台北を巡り、台湾の歴史と文化を十分に満喫しました。

また、訪問団のほか、台南市長や台南市議会議長など台南市政府関係者が参加した交流懇親会も開催されました。

今回の訪台により、弘前市と台南市の交流がより一層促進されました。

△問い合わせ先 国際広域観光課 (☎ 40・7017)

街にぎわいをつくり出したい。高校生たちが自ら考え、検証を重ね、行動に移した一つの計画。

## 特集

# ぼくたちの景観計画

## えきどプロムナード 認知度向上とぎわいの創出

皆さんは「えきどプロムナード」という名称をご存じですか。「何の名前だろう…」と頭を抱える人も多いのではありますか。

えきどプロムナードは、平成23年12月に714件の応募作品の中から選ばれた、JR弘前駅前と土手町商店街をつなぐ遊歩道の愛称で、7月～11月に開催されている農産物直売青空市場「弘前マルシェ

FORET（フォーレ）の会場にもなっています。

プロムナードはフランス語で「散歩・散歩の場所」を意味し、ひらがなの「えきど」を合わせることでより親しみのある場所として多くの人に利用してもらえるよう、名付けられました。

しかし現状は、通勤・通学に利用する人たちがほとんどで、わざわざ足を止めて通りを楽しむ人が少なく、市民評価アンケートでも「遊歩道の認知不足」「人通りが少なく活

気がない」といった意見が上がってきます。

このような現状を変えるにはどうしたらいいのか。今号では、「えきどプロムナード」をより多くの人に知ってもらい、利用されることで、街にぎわい・活気をつくり出そうと計画した高校生たちの姿を紹介します。

## えきどプロムナード 景観育成事業

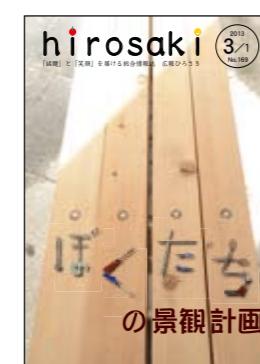
市では本年度から、えきどプロムナードの新たな魅力づくりに挑戦するため、「えきどプロムナード景観育成事業」をスタートさせました。この事業は、今あるものを活用しながら、新たな発想・仕掛けづくりを地元の高校生に考えてもらい、それを実現させることで、えきどプロムナードの人通りの増大・地区的活性化を図るというものです。

この事業を進めるに当たり、土木施設の認知度向上という観点から、市では昨年の6月、土木科のある弘前工業高校を訪ねて事業の実施を依頼。「えきどにぎわいを取り戻すためには若者の新しい発想が必要。ぜひ協力してほしい」という市の呼びかけに同校の生徒たちが応え、実施することとなりました。

## 立案、調査、検証… 高校生たちの奮闘

市からの依頼を受けた生徒たちはさっそくさまざまな意見を出し合います。「どうしたら人が集まってくれるのか」「足を止めて通りを楽しんでもらうには何が必要か」といったさまざまな課題について話し合いを重ね、市の関係部署と打ち合わせを行いながら、準備を進めてきました。

土木科の生徒ということもあり、本来であれば測量士補や施行技術者の資格試験の対策に使う時間も、事業実施のために費やし、ぎりぎりの日程で取り組んできたといいます。



## 今号の表紙 ベンチ×高校生=まちづくり

ここに一つのベンチがあります。「ベンチがあればそこに座って休む人がでてくる。休む人がでてくれれば、そこに会話が生まれる。会話が生まれれば、その場所の雰囲気は明るくなり、自然と人が集まってくる。人が集まってくれば、街は活気を取り戻す」。自分たちの暮らす大好きな街のためにー。このベンチにはそんな熱い思いが込められています。



生徒たちに指導を行ってきた同校土木科の三浦宏之科長は、「生徒たちには土木という仕事が、道路を造るというようなハード面だけではなくて、もっとソフト的な部分、生活に密着しているものなんだ、ということを学んでもらいたいと思います」と話していました。

## 2つの提案グループ それぞれの景観計画

「えきどてプロムナードにベンチを設置して、にぎわいをつくろう！」こう提案したのは、弘前工業高校土木科3年の一戸涼人さん、川村俊貴さん、齋藤駿太郎さん、原田大幹さんの4人。

生徒たちは実際に現地を調査したときに、人だかりを見掛けることが少なかったため、この通りに人だかりをつくり、会話や買い物を楽しんでもらうとともに、足を止めてゆっくりと過ごす時間をつくってもらうため、このような提案をしたといいます。

何度も現地調査を行い、人だかりをつくることが必要と感じた場所10カ所にベンチを設置することに決定。翌日にお披露目のセレモニーを控えた2月7日には、えきどてプロムナードの設置場所まで木材を運び、土台に取り付ける作業を行ったり、取り付けが済んだベンチの座り心地を確かめたりと最終調整に余念がありませんでした。

また、少し遅れて姿をみせたもう一方のグループは、「えきどてるみ



なりえをつくろう」と提案。神戸ルミナリエ（神戸市で行われている祭典。通りや広場をイルミネーションで飾り、昼間とは異なる風景を楽しむもの）を参考に、えきどてプロムナードをイルミネーションで装飾しようと計画を立てました。

提案者は後藤祥太さん、岩瀬光亮さん、鈴木好祐さん、福士颯さんの4人で「この場所を訪れた人が何かを見て足を止め、時間を過ごす空間をつくりたい。そしてその人の集ま

り（点）が1本の線となって、えきどてプロムナードのイメージ強化と認知度の向上につなげたい」という思いで作り上げてきたとのこと。

えきどてを楽しむ人たちを増やすため、電灯が設置されていない駅前公園ステージに市のマスコットキャラクター「たか丸くん」をLEDチューブライトで描いたオブジェを設置し点灯させることで、活気にあふれた人々の交流の場にしようと思案していました。

## お披露目のとき

2月8日、午後5時から駅前公園で行われたベンチのお披露目とたか丸くんイルミネーションの点灯式。

当日は強い雪の降るあいにくの天候となりましたが、製作に携わった高校生やその友人たち、先生や市職員など関係者が集まり、完成を祝いました。

イルミネーションの点灯式では、全員によるカウントダウンが行わ

れ、ホール終了とともに淡いピンク色の光りでかたどられたたか丸くんの姿がステージ上に鮮やかに浮かび上がると、会場に集まった人たちから大きな歓声や拍手が沸き起こりました。

イルミネーション点灯に引き続き行われた澤頭都市整備部長によるあいさつでは、「7月には旧ジョッパル『ヒロロ』がオープンする予定となっています。設置されたベンチもここを通る家族連れやお年寄りなど

多くの人たちに利用してもらえるのではないかと思います。生徒の皆さんもいい思い出になるのではないかでしょう。本当にごくろうさまでした」と労をねぎらっていました。

生徒たちは一様に「みんなで一つのことをやり遂げた」という達成感に満ちた表情を浮かべ、笑顔で記念撮影に応じるなど興奮冷めやらぬ様子をみせていました。

高校生が社会とかかわり合いながら、まちづくりに大きな関心を持つきっかけとなった今回の事業。生徒たちの「えきどてプロムナードに新たな魅力を持たせることで、地域のみんなに認知され、豊かな人だかりのできる愛される通りづくりを目指したい」という熱い思いが伝わってきました。

このような取り組みは、地域に住む私たち大人がどう応えていくかによって、その成果も変わっていきます。「これは地元の高校生が考えて作ってくれたんだ」ということを伝え、広めていくことが、生徒たちの努力に報いることにつながります。

自分たちの住む地域の景観を向上させ、魅力あふれる街にしたい。若者たちの挑戦は、これからも続いていきます。



※たか丸くんのイルミネーションについては、2月28日をもって終了しています。



【提案者】左から…一戸涼人さん、川村俊貴さん、齋藤駿太郎さん、原田大幹さん

このベンチを作ろうとしたきっかけは、学校の課題研究のテーマを決めようとしていた去年の夏に、「今この弘前に足りないものは若い人たちだ。だから高校生であるあなたたちの力で、

## Interview

### 街を活発にするためにたくさんの人に使ってほしい

若い人が集まるようなものを考えられないか」という先生からの一言でした。

そこから半年間、何度も市役所の人たちと打ち合わせをしたり、現地を調査したりして、どこにベンチを置けば市民の皆さんに利用してもらえるかというようなことを続けてきました。それこそ夏休み前から、学校の課題研究や実習の時間をほぼ使って、毎週のようになります。

制作に当たっては、土台と木材をつなぐねじが外れないようにするにはどうしたらいいかとか、子どもたちが使ったときにベンチの木と木の間に指を挟んでがをしないようにするにはどうしたらいいかとか、たくさんの課

題を一つ一つクリアしてきました。

このベンチは、はじめは若い人たちに使ってほしいという気持ちで作りましたが、この弘前を活発にしていくためには、やはりさまざまな年代の人たちに使ってほしいと思います。また、みんなで月日をかけて、一からがんばって作り上げたものなので、大切に使ってほしいという気持ちがあります。

これを機会に、「えきどてプロムナード」と一緒に、弘前工業土木科の名前も県内、県外に広まればいいなと。そういう面でも市民の人たちにたくさん利用してもらって、少しでも良かったと思ってもらえば一番です。

（チームリーダー・一戸涼人さん談）

## Interview

### 光るたか丸くんを見に来て、えきどてににぎわいを

以前から、えきどてプロムナードはとてもすばらしい場所だと思っていましたが、ときどきこっちに来いろいろ調べてみると、こんなにいい場所でありながら、それほど利用する人が多くないということが分かりました。

そこで、何かをきっかけに人を呼び込むことができれば、この認知度も上がり、利用者も増えるのではないかと思い、今回、「えきどてるみなりえ（たか丸くんのイルミネーション）」の製作を考えました。たか丸くんに決めたのは、やっぱり市のマスコットキャラクターです、インターネットのゆるキャラグランプリでも頑張っていたので、少しでもPRに貢献しようと考

えたからです。そしてここ（駅前公園）に人が集まってくれば、えきどてプロムナードをたくさん使ってくれるんじゃないかなと思ったんです。

ただ、やりはじめたのが、ほとんどゼロの状態で、「まず何をするか」というところから始めたので、計画を立てたり、人が集まるにはどうしたらいいかとかを考えたりすることが一番大変でした。最初の計画から製作に取り掛かるまで、何回も打ち合わせを行って、いろいろ話し合いました。でもそのおかげで、今このように完成して、無事披露することができました。

今回自分たちの作った「えきどてるみなりえ」を、たくさんの人たちが「見



【提案者】左から…後藤祥太さん、鈴木好祐さん、岩瀬光亮さん

てみようかな」という気持ちになって、こちらのほうに一度来てもらえばうれしいです。そうすれば、場所や雰囲気も分かってもらえると思いますので。

（チームリーダー・後藤祥太さん談）



## 平成 24 年度 弘前マイスターに 5 人の匠が認定

「弘前マイスター制度」は、優れた技能・技術者を弘前マイスターとして認定し、社会的評価を高めるとともに将来の地域産業を担う後進へ技術の継承を図ることを目的に、本年度創設した制度です。ここでは今回認定された 5 人のマイスターを紹介します。



漆器工 今年人

国指定の伝統的工芸品「津軽塗」の伝統技法を用いた作品を製作。特にななこ塗の技法に秀でており、業界内でも評価が高い。また、技術の保存活動や後継者育成活動に対して積極的に取り組んでいる。

【勤務先：今漆器工房】



刺しゅう工 三浦 佐知子

藍染めの麻と白い木綿糸で刺す、津軽地方に伝わる伝統的なこぎん刺し。その精緻（せいいち）な模様、高度な構造を生かした製作技術に優れている。技術の継承やこぎん刺しの普及にも積極的に取り組んでいる。

【勤務先：弘前こぎん研究所】



和生菓子製造工 大和田 晃一

和菓子製造（和生菓子製造作業）一級技能検定を取得。生菓子や干菓子、茶席菓子のいずれにおいても優れた技術を有し、数々の品評会等で受賞している。特に茶席菓子得意としている。

【勤務先：双味庵】



鍛造工 吉澤 俊寿

藩政時代より培われた作刀技術を生かし、柔らかい鉄で包み込まれた鋼をたたいて造る「本打ち包丁」、鋼だけで造る「本焼き包丁」は、刀の波形の刀紋を包丁の刃に付ける工夫を施すことで、美しく高級感を醸しだしている。国内外の展示会等へ意欲的に出展し高い評価を得ている。

【勤務先：二唐刃物鍛造所】



バーテンダー 渡邊 直人

バーテンダー技能（厚生労働省）および世界バーテンダー検定を取得。数多くのカクテルのレシピを習得しており、お客様の注文に迅速かつ的確に応対することができ、お酒の素材を生かしたカクテル造りに秀でている。1999 年には全国バーテンダー技能競技大会（課題部門）において優勝。

【勤務先：Bar 侍庵】



### 弘前マイスターによる 出前授業

弘前マイスターは、地域産業の振興、技能・技術の継承・発展と人材育成を図るため、次のような出前授業を行います。授業を希望する場合はお問い合わせください。

- 学校や地域などの技術指導
- 各種団体などが主催する研修会の講師や技術指導
- 講演会、セミナーなどの講師、実演など

※マイスターの技術情報および派遣申込書は市ホームページに掲載しています。なお、依頼内容によっては対応できない場合がありますのでご了承ください。

▽問い合わせ先 商工労政課  
仕事おこし・雇用支援室（☎ 84-32114）

（☎ 84-2316）／御所温泉（☎ 84-2114）

功績を称えて

## 平成 24 年弘前市スポーツ賞

会長  
 ◎村中歩美さん（スキー）  
 ◎北川果央子さん（硬式テニス）  
 ◎三上さゆりさん（硬式テニス）  
 ◎今優介さん（サッカー）  
 ◎丸山佳祐さん（スキー）  
 ◎佐藤亜美さん（ソフトテニス）  
 ◎村上穂乃花さん（ソフトテニス）  
 ◎三浦智範さん（新体操）  
 ◎福士颯さん（ボクシング）  
 ◎工藤辰郎さん（陸上）  
 ◎弘前実業高等学校ソフトボール部  
 ◎弘前実業高等学校ソフトテニス部

### スポーツ大賞

◎四戸知佳さん（スキー）  
 ◎妻神一誠さん（陸上）  
 ◎東奥義塾高等学校女子剣道部

### スポーツ功労賞

スポーツ選手または団体を指導育成し、体育・スポーツの普及振興に顕著な功績をあげた人に贈られます。

◎石川章子さん（弘前市ソフトボール協会副理事長）  
 ◎佐藤光毅さん（弘前体操連盟会長）  
 ◎照井雄一さん（弘前市野球協会副

### スポーツ優秀賞

◎永澤和樹さん（ボクシング）  
 ◎棟方亮丞さん（卓球）

### スポーツ敢闘賞

◎今村洋暁さん（柔道）  
 ◎榎優美子さん（陸上）  
 ◎後藤大河さん（ボクシング）  
 ◎東浦侑加さん（弓道）

◎阿部千賀子さん（ラージボール卓球）  
 ◎中野京子さん（ラージボール卓球）  
 ◎福士令子さん（硬式テニス）  
 ◎荒内大知さん（陸上）  
 ◎天海英亮さん（バドミントン）  
 ◎ひろさき ZERO（ママさんバーボール）

### スポーツ奨励賞

◎阿部千賀子さん（ラージボール卓球）  
 ◎中野京子さん（ラージボール卓球）  
 ◎福士令子さん（硬式テニス）  
 ◎荒内大知さん（陸上）  
 ◎天海英亮さん（バドミントン）  
 ◎ひろさき ZERO（ママさんバーボール）

3月 25 日 リニューアルオープン！

## 相馬やすらぎ館（弘前市相馬庁舎）

### ■開館時間・休館日

施設名	開館時間	休館日
相馬総合支所	午前 8 時半～午後 5 時	土・日曜日、祝日、年末年始
御所温泉	午前 10 時～午後 9 時	毎週水曜日
中央公民館相馬館（貸館部分）	午前 8 時半～午後 5 時 (午前 9 時～午後 10 時)	年末年始
弘前図書館相馬ライブラリー	午前 9 時半～午後 5 時	毎週水曜日、年末年始

※御所温泉・中央公民館相馬館（貸館部分）は 25 日の正午から開館となります。

### ■使用料

#### ○御所温泉

区分	大人(中学生以上)	小人(小学生以下)	65 歳以上
1 人 1 回	300 円	100 円	200 円
回数券(12 枚つづり)	3,000 円	1,000 円	2,000 円

※旧御所温泉で実施していた 65 歳以上無料の取り扱いは廃止となりました。

### ○中央公民館相馬館（貸館部分）

室名	午前	午後	夜間	全日
	(午前 9 時～正午)	(正午～午後 5 時)	(午後 5 時～10 時)	(午前 9 時～午後 10 時)
研修室 1	690 円	1,150 円	1,150 円	2,990 円
研修室 2	540 円	900 円	900 円	2,340 円
研修室 3	540 円	900 円	900 円	2,340 円
和室	720 円	1,200 円	1,200 円	3,120 円
調理実習室	630 円	1,050 円	1,050 円	2,730 円
長慶閣	6,120 円	10,200 円	10,200 円	26,520 円

※長慶閣は改修工事のため、4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで休館となります。

6

HIROSAKI 2013.3.1

7

子育て世代を  
バックアップ

(住まい)

# 子育てスマイルアップ補助事業

市では、本年度から、子育てに適した住環境の創出と定住の促進を図るため、住宅の新築・購入やリフォームを行う人を対象に、掛かる経費の一部を支援する事業をスタートしました。この事業の1年目の成果として、本年度の実施状況と利用者の声を紹介します。

▽問い合わせ先 子育て支援課政策推進担当 (☎ 40・7038)

## ■本年度の実施状況

※事前申し込みを実施したところ、167件の申し込みがあり、抽選の結果、76件の人から交付申請を受け付けました。

事業区分	枠の区分	補助金額	申込件数	交付申請件数
新築・購入	一般枠	補助対象経費×3%(上限40万円)	84件	37件
	3世代枠	補助対象経費×5%(上限50万円)	28件	10件
リフォーム	一般枠	補助対象経費×20%(上限20万円)	53件	28件
	3世代枠	補助対象経費×30%(上限30万円)	2件	1件
		合計	167件	76件

## 本年度事業を利用した人へお話を聞きました

### 安心して子育てできます

- ◎新築一般枠の利用者
- ◎補助金額 40万円
- ◎平成24年12月工事完了



家を建てるかどうかを迷っていた時に、この補助事業を知りチャンスだと思い、新築することにしました。新築する前は集合住宅に住んでいましたが、隣や下の人への音の影響が気になって、子どもを自由に遊ばせることができませんでした。今は音の心配もありませんし、スペースも広くなったので、走り回ったり声を出したりして、自由に遊ばせることができます。前は住宅の構造上、台所にいる時は子どもから目を離さざるを得ませんでしたが、今は子どもの様子を見ながら料理できます。新しい家になってから、安心して子育てができるようになったと感じています。

### 3世代でにぎやかに暮らしています

- ◎新築3世代枠の利用者
- ◎補助金額 50万円
- ◎平成24年11月工事完了



この補助事業を知る前から新築する予定はありましたが、少しでも負担が軽くなればと思い、利用することにしました。前は県営住宅に親子で住んでいましたが、新築後は子どもの祖父母と同居しています。以前から、子どものことで困ったことがあれば祖父母にサポートをお願いしていましたが、すぐに対応できませんでした。今は大人が4人いるので、動きやすいですね。私たちが手を離せないときは、祖父母が面倒を見てくれています。祖父母と子どものコミュニケーションも増え、家の中は明るい雰囲気です。それぞれの家庭に事情はあると思いますが、3世代での同居は子育てする上で助かる部分が多いと感じています。

### 子ども部屋ができ、伸び伸び遊べるように

- ◎リフォーム一般枠の利用者
- ◎補助金額 20万円
- ◎平成24年10月工事完了



子ども部屋を作るためにリフォームをしました。リフォームは前から考えていましたが、補助金のおかげで当初よりも大きな規模で工事をすることができました。部屋の面積や高さを限界まで広げたり、大きな窓を取り付けたり、壁紙をワンランク上のものにしたりと、やりたかったことを思い切ってやることができます。新しい部屋は広くて日光がたくさん入り、見晴らしも良いのでとても快適です。子どもも元気に走り回り、伸び伸びと遊んでいます。これまででは寝る時も親と一緒にでしたが、今は子ども部屋で寝るようになり、成長を感じられるのがうれしいですね。

### 実家が近くになり、子育てしやすい環境に

- ◎新築3世代枠の利用者(転入者)
- ◎補助金額 50万円
- ◎平成24年9月工事完了



以前は青森市内のアパートに暮らしていましたが、子どもが生まれて環境が変わり、実家のサポートが必要になったので、私たち夫婦の実家がある弘前に新築しました。青森にいるときもサポートが必要な場合は、実家の両親に来てもらっていましたが、電車での移動でしたので、時間がかかるとなかなか大変でした。今は実家の近くに住んでいるので、何かあればすぐに来てもらえて、とても助かっています。青森にいるときよりも、かなり子育てしやすくなりました。新築の家は暖かく、広々としていて住みやすいので、子どもにも良い環境だと思います。この補助事業を受けることができて、とてもありがたいと思っています。

## 平成25年度の事業利用希望者を募集します

ここでは、来年度に事業の利用を希望する人を募集します。なお、この事業に関する予算は、3月に行われる第1回定例市議会で審議されます。予算案の可決をもって、事業を実施します。

### 事業概要

#### ▽対象者

- ①~③の条件をすべて満たす人
- ①市内に住民登録をしている人または当市へ転入予定で、5年以上定住することを誓約する人
- ②市税を滞納していない人
- ③平成25年4月1日現在、満18歳未満の子どもがいる人

#### ▽対象住宅

- 一戸建て住宅

- 店舗などとの併用住宅(住宅部分のみ)

- マンションなどの共同住宅(専有部分のみ)

※申請者本人、配偶者またはそれぞれの直系親族が所有または取得する住宅に限る。

#### ▽対象事業

子育てしやすい環境づくりや、子どもの生活環境の整備を目的とした新築・購入・リフォームで、次の①~④の条件をすべて満たすもの

- ①リフォーム工事は、10万円以上の費用を要する工事であること(新築・購入は条件なし)

- ②平成26年2月28日までに完了する事業であること(新築は平成25年11月末までに着工し、平成26年2月28日までに完了すること)

- ③交付申請前に着手した事業でないこと

- ④市内施工業者が施工する事業であること

※事業の内容によっては、補助の対象とならないことがあります。

#### ▽対象となる経費

上記の対象事業を実施するために必要な経費。ただし次の①~⑤の経費は対象外。

- ①土地購入費

- ②仮住居などの使用に要する費用

- ③工事用機械または工事用具購入費

- ④電気電化製品購入費および電気電化製品設置工事費

- ⑤使途の明確でない費用など

#### ▽補助率・補助金額

下表のとおり

事業区分	枠の区分	補助金額
新築・購入	一般枠	補助対象経費×3%(上限40万円)
	3世代枠	補助対象経費×5%(上限50万円)
リフォーム	一般枠	補助対象経費×20%(上限20万円)
	3世代枠	補助対象経費×30%(上限30万円)

※3世代枠…祖父母、親、子の3世代で新たに同居(おおむね1km以内に近居)するための新築・購入・リフォームの場合に該当

▽申請方法 所定の書類を子育て支援課へ直接持参してください。申請には、申請書のほか建築基準法第6条の2第1項の規定による確認済証(確認申請が必要な場合)、見積書、施工箇所の着工前の写真、住民票、納税証明書などの書類が必要です。詳しくは4月1日以降に子育て支援課、各総合支所、各出張所で配布するパンフレット、ホームページをご覧ください。

#### ▽受付期間

○第1次受付期間: 4月1日~6月30日

○第2次受付期間: 7月1日~9月30日

○第3次受付期間: 10月1日~11月20日

※受付期間ごとに予算額を設定しています。予算額を超える申請があった場合は、各受付期間後に抽選により補助金を交付する人を決定します。

▽受付時間 午前8時半~午後5時(土・日曜日、祝日を除く。ただし、各期間最後の土・日曜日は受け付けをする予定です)

### 補助事業の活用例

○これまで親子でアパートに暮らしていたが、子どもの成長に伴い、部屋が手狭になってきたため、住宅を新築(購入)したい。

○子どもの誕生(成長)に伴い、子ども部屋を増やしたい(改修したい)など

### 留意事項

申請は全受付期間を通して1回限りです。また、先着順ではありませんので、事業の計画に合わせて、必要書類などの準備が整い次第申請してください。

▽問い合わせ・申請先 子育て支援課政策推進担当(市役所1階、窓口108、☎ 40・7038)



手続きは  
込み合う  
前に

# 引っ越しに伴う 各種手続きは お早めに



3月は、進学や就職、転勤などで引っ越しが多くなる月です。月曜日や月初め・月末は、引っ越しの手続きなどで窓口が非常に込み合います。できるだけこの時期を避け、早めに手続きをしてください。



## 住民異動届

【転出するとき→転出届】 転出する前のおおむね 10 日以内に届け出を。

新しい住所地での転入届に必要な

転出証明書の交付または住基カードへの転出処理を受けてください。

【転入したとき→転入届】 転入した日から 14 日以内に届け出を。

前の住所地で交付を受けた転出証明書または特例に係る処理済みの住基カードを必ず持参してください。

【市内で転居したとき→転居届】 転居した日から（引っ越し後）14 日以内に届け出を。

※届け出には窓口に来た人の運転免許証や健康保険証など、本人を確認する書類が必要です。また、代理人（同居の親族を除く）が届け出をする場合は、委任状も必要です。

▽問い合わせ・届け出先 市民課（市役所 1 階、☎ 35・1113）／岩木総合支所民生課（☎ 82・1628）／相馬総合支所民生課（☎ 84・2111、内線 823）／各出張所



## 小・中学校の転校

市内で転居したときは、転居先によって、お子さんが小・中学校を転校しなければならない場合があります。

詳しくはお問い合わせください。

▽問い合わせ先 教育委員会学務課（岩木庁舎内、☎ 82・1640）／教育委員会学務課弘前分室（市役所 2 階、☎ 40・7057）



## 国民健康保険

【転出するとき】 被保険者証や高齢受給者証などを返却してください。また、市外の学校に入学する場合は、在学証明書または学生証の写しを持参し、学生用被保険者証の手続きをしてください。

【市内で転居したとき】 被保険者証

などを持参し、届け出を。

▽問い合わせ・届け出先 国保年金課（市役所 1 階、☎ 40・7045）／岩木総合支所民生課（☎ 82・1628）／相馬総合支所民生課（☎ 84・2111、内線 836）



## 後期高齢者医療制度

【転出するとき・市内で転居したとき】 被保険者証や限度額適用・標準負担額認定証、特定疾病療養受療証を持参し、届け出を。

【転入したとき】 県外からの場合は、前の住所地からの負担区分等証

明書を持参し、届け出を。

▽問い合わせ・届け出先 国保年金課（市役所 1 階、☎ 40・7046）／岩木総合支所民生課（☎ 82・1628）／相馬総合支所民生課（☎ 84・2111、内線 836）



【住所を異動するとき】 住所変更届（はがき）に必要事項を記入し、年金事務所に提出を。なお、住所変更届は市役所本庁舎、岩木・相馬庁舎にも用意しています。

▽問い合わせ先 国保年金課（市役所 1 階、☎ 40・7048）／岩木総合支所民生課（☎ 82・1628）／相馬総合支所民生課（☎ 84・2111、内線 836）



要介護・要支援認定を受けている人や認定申請中の人は、新しい住所地であらためて認定申請をしてください。

▽問い合わせ・届け出先 介護保険課（市役所 1 階、☎ 40・7050）

さい。

【転入したとき】 前の住所地で交付を受けた受給資格証明書を持参し、届け出を。



## 自動車・バイクの異動

軽・普通自動車税は、4月1日現在の所有者に課税されます。

▽届け出先 ① 125cc 以下の原動機付自転車、小型特殊自動車など…市民税課（市役所 2 階、☎ 35・1117）／岩木総合支所民生課（☎ 82・1628）／相馬総合支所民生課（☎ 84・2111、内線 825） ② 軽四輪自動車、250cc 以下の軽二輪…軽自動車協会（青森市浜田字豊田、☎ 017・739・0441） ③ 250cc を超える二輪の小型自動車、普通自動車…青森運輸支局（青森市浜田字豊田、☎ 017・739・1501）

※②と③は、弘前自動車協会（神田4丁目、☎ 32・7237）でも手続きできます。



料金精算や水道の使用を止めるととき、使い始めるときは 5 日くらい前

までに連絡してください。その際、

検針のお知らせや水道料金領収書に記載されている「お客様コード番号」をお知らせください。

▽連絡先 上下水道部営業課（茂森町、☎ 36・8115、夜間・休日 ☎ 36・8100）

※引っ越しの際は、事故防止のため必ず水抜き栓を操作し、水下げを行ってください。なお、水道料金はコンビニエンスストアでも支払うことができますので、ご利用ください。



用許可証が必要です。使用許可証は各問い合わせ先で交付しています。

【燃やせるごみ】 弘前地区環境整備センター（町田字筒井）休業日第1・第3日曜日／南部清掃工場（小金崎字川原田）休業日第2・第4日曜日

【燃やせないごみ・大型ごみ・容器包装ごみ】 弘前地区環境整備センター

※家電リサイクル対象品目（テレビ、エアコン、洗濯機・衣類乾燥機、冷蔵庫・冷凍庫）やタイヤなどの自動車部品、消火器など、市のごみ収集および施設での受け入れを行っていないごみがあります。

▽問い合わせ先 環境政策課（市役所 2 階、☎ 35・1130）／岩木総合支所民生課（☎ 82・1628）／相馬総合支所民生課（☎ 84・2111、内線 823）／弘前地区環境整備センター（☎ 36・3883）／南部清掃工場（☎ 92・2105）

※これらのほか、電気やガス、電話、NHK放送受信料、新聞などの連絡もお忘れなく。郵便局に新しい住所を届けると、1年間は前の住所への郵便を転送してくれます。

平日に入ることが  
できない人は、ぜひ  
ご利用を

## 3月23日～4月7日の土・日曜日も、市役所本庁舎 で一部の窓口業務を行います

毎年、3月下旬から4月初めにかけては、転出・転入に伴う届け出が多くなり、市役所窓口が非常に混雑します。

そこで、各窓口の混雑を緩和し、待ち時間を短縮するため、次の土・日曜日も転出や転入などを対象とした窓口業務を行いますので、この機会にぜひご利用ください。

※他市町村・行政機関が休業のため、内容によっては、再度来庁してもらう場合もあります。

▽とき 3月23日(土)・24日(日)・30日(土)・31日(日)、4月6日(土)・7日(日)

▽時間 午前8時半～午後5時

▽ところ 市役所本庁舎(上白銀町)

▽取扱業務 下表参照



取扱業務	担当課	電話番号
①住民異動届(転出・転入・転居など)の受け付け ※住基ネット利用業務(住基カードによる転入・転出および住基カードの継続利用手続きなど)は取り扱いできませんので、ご注意ください。 ②戸籍届(出生・死亡・婚姻・離婚など)の受け付け ③住民票の写し、戸籍証明書(謄抄本)、身分証明書、各種税証明書の発行 ④印鑑登録、印鑑証明書の発行 ※窓口に来た人の運転免許証や健康保険証など、本人確認書類が必要です。なお、代理人が申請する場合は委任状も必要です。 ※印鑑登録は、本人が直接申請し、本人確認が得られた場合に当日可能です。また、印鑑証明書の発行には、印鑑登録証(カード)が必要です。 ⑤ごみ分別収集日程表・分け方出し方のチラシの配布	市民課 (1階)	35・1113
①国民健康保険の資格取得喪失に関する手続き ②国民健康保険の医療給付に関する手続き ③後期高齢者医療に関する手続き ④国民年金の免除・給付・資格取得喪失・住所変更に関する届け出受理	国保年金課 (1階)	① 40・7045 ② 40・7047 ③ 40・7046 ④ 40・7048
①身体障害者・療育(愛護)・精神保健福祉手帳に関する手続き ②自立支援医療(更生、精神通院)に関する手続き ③重度心身障害者医療費支給に関する手続き ④障害福祉サービスに関する手続き(居宅介護、短期入所など)	福祉総務課 (1階)	40・7036
①児童手当・児童扶養手当に関する手続き ②乳幼児医療・ひとり親家庭等医療費の給付資格に関する手続き ③保育所の入所・退所、病児病後児保育およびトワイライトステイに関する手続き	子育て支援課 (1階)	①② 40・7039 ③ 35・1131
①転出・転入・転居に伴う小・中学校の就学事務 ※就学事務の取り扱い期間は、3月23日～31日です。	学務課弘前分室 (2階)	40・7057
※水道の使用開始・廃止の受け付けは、上下水道部(茂森町、☎ 36・8115、夜間・休日☎ 36・8100)で常時受け付けます。連絡は5日前までにお願いします。		

不明な点などは問  
い合わせを

## 下水道使用状況の再確認について

井戸水などを利用している人で、井戸水の使用を止めているにもかかわらず、届け出をしていない人が見受けられます。井戸水などの利用について変更がある場合には、変更申告の届け出が必要ですので、今一度ご確認ください。

なお、次の事例に該当するような場合には、必ずご連絡ください。

### ▽事例

①井戸水の使用を止めたにもかかわらず、井戸水使用分の下水道使用料が徴収されている

②一つの水道メーターを2棟の家屋などが共有し、2棟のうち1棟が下水道に未接続であるにもかかわらず、2棟分の下水道使用料が徴収されている

③浄化槽を使用しており、下水道を使用していないのに下水道使用料が徴収されている

▽下水道使用料の確認方法 毎月発行している「水道使用量のお知らせ」で確認することができます(下図参照)。

▽問い合わせ先 上下水道部営業課営業係(☎ 36・8115)

### 下水道使用料の確認方法

「水道使用量のお知らせ」は、毎月行っている水道メーターの検針時に、郵便受けなどに入れてお知らせしています。

○下水道を使用している場合  
排除汚水量・金額が表示されています。

水道使用量のお知らせ	
平成25年1月分 給水場所 弘前市大字	
使用者名 様	
ご使用期間	平成24年12月12日～平成25年1月12日 口径 20mm メーカー番号 住器1
今回使用水量	20m <sup>3</sup>
請求予定額	
水道給水量	基本料金 1,625円 水量料金 2,120円 水道料金 3,745円
下水道排除汚水量	基本使用料 1,284円 従量使用料 1,720円 下水道使用料 3,004円
合計	20m <sup>3</sup> 6,749円

請求予定額	
水道給水量	基本料金 1,625円 水量料金 2,120円 水道料金 3,745円
下水道排除汚水量	基本使用料 1,284円 従量使用料 1,720円 下水道使用料 3,004円
合計	20m <sup>3</sup> 6,749円

A

○下水道を使用していない場合  
排除汚水量・金額が表示されていません。

請求予定額	
水道給水量	基本料金 1,625円 水量料金 2,120円 水道料金 3,745円
下水道排除汚水量	基本使用料 円 従量使用料 円 下水道使用料 円
合計	20m <sup>3</sup> 3,745円

B

※下水道を使用していないのに、「A」のように排除汚水量・金額が記載されている場合は、ご連絡ください。

実証運行を実施  
します

## 3月1日から宮園団地線と岩賀線の運行経路を変更

弘前市地域公共交通会議では、利用者の減少が続いている公共交通を維持していくため、市内バス路線の見直しを実施しており、このたび、3月1日から宮園団地線と岩賀線の運行経路を変更する実証運行を実施します。

この実証運行では、利用者からの意見・要望や利用状況をもとに、運行経路などを検討しながら本格運行

へ移行する予定となっていますので、多数のご利用をお願いします。

なお、運行経路については周知を行いますが、実証運行に関する不明な点や意見・要望がある場合はご連絡ください。

▽問い合わせ先 都市計画課交通政策推進室(☎ 35・1124)／弘南バス(☎ 32・2241)

支給申請を受け付けます

## 後期高齢者医療の高額医療・高額介護合算療養費

▽支給対象者 後期高齢者医療制度に加入し、医療費と介護サービス費の両方を負担している人

※世帯内に後期高齢者医療制度に加入している人が複数いる場合は、世帯で合算します。

▽計算対象期間 毎年8月1日から7月31日までの1年間

▽支給額 所得区分に応じて自己負担限度額（下表）があり、支払った自己負担額が限度額を超えた場合に、超えた分が支給されます。

所得区分	自己負担限度額
現役並み所得者	67万円
一般	56万円
低所得Ⅱ	31万円
低所得Ⅰ	19万円

低所得Ⅱ…世帯員全員が住民税非課税の場合

低所得Ⅰ…世帯員全員が住民税非課税であり、世帯員全員の各所得が0円である場合

▽支給申請 支給を受けるには申請が必要です。支給の要件に該当すると思われる世帯には、2月下旬に青森県後期高齢者医療広域連合から支給申請のお知らせを送付しましたので、届いた人は担当窓口に申請してください。なお、計算対象期間の途中で後期高齢者医療制度に加入した人や、転入してきた人などがいる世

帯、7月31日時点で後期高齢者医療被保険者の資格を死亡・生保加入により喪失している人がいる世帯には、支給対象となる世帯であっても、申請のお知らせが送付されない場合もありますので、対象になると思われる人はお問い合わせください。

### ▽申請に必要なもの

○支給申請書

○後期高齢者医療被保険者証

○介護保険被保険者証

○印鑑（スタンプ印不可）

○通帳（コピー可）など、口座情報の分かるもの

※被保険者が亡くなっている場合は、受領申立書の提出が必要です。

※被保険者以外の人が申請または受領する場合は、委任状が必要です。

※重度心身障害者医療費の助成を受けている場合は、市町村へ受領を委任する委任状が必要です。

※計算対象期間中に、ほかの医療保険や介護保険に加入歴があり、医療費、介護サービス費の負担がある場合は、それらの保険の自己負担額証明書が必要です。

▽問い合わせ・申請先 国保年金課高齢医療係（市役所1階、窓口156、☎ 40・7046）

学用品費などを一部援助します

## 平成25年度就学援助の申請を受け付け中です

経済的理由により就学が困難な小・中学校児童生徒の保護者に対して、学用品費などの就学費用を一部援助します。

援助を受けるためには、申請して審査を受ける必要があります。申請は随時受け付けていますが、4月から認定を受けるには、3月中の申請が必要です。

▽対象 市立小・中学校に就学する児童生徒の保護者で、次のいずれかに該当する人

※市立小・中学校以外に就学している場合でも、児童生徒および保護者が市内に居住している場合は認定できることがありますので、お問い合わせください。

○平成24年度中に生活保護が停止または廃止となった人

○世帯全員が市民税所得割額非課税の人

※住宅借入金等特別税額控除は適用しません。また、平成8年1月2日以降生まれの被扶養者については

1万9,800円、平成5年1月2日～平成8年1月1日生まれの被扶養者については7,200円を扶養者の所得割額から差し引き、0円以下になった場合も含みます。

○国民年金保険料が全額免除の人

○児童扶養手当の全部支給（一部支給停止されていない）を受けている人

○市民税が減免決定された人

○国民健康保険料が減免決定された人

○そのほか、経済的に就学に困難な状況が認められる人（学校などを通じて確認します）

▽申請に必要なもの 印鑑、市民税・国民健康保険料の減免理由で申請する人は、減免決定通知書

▽問い合わせ・申請先 学務課（岩木庁舎3階、☎ 82・1640）／学務課分室（市役所2階）

※電話での問い合わせは学務課へ。

## 市民参加型まちづくり1%システム 実施事業紹介

このコーナーでは、「市民参加型まちづくり1%システム」を活用し、実施された事業を紹介しています。14回目の今号は下記の2事業です。

9

### 民俗無形文化財 お山参詣

▽実施団体 鳥井野地区お山参詣実行委員会

▽事業内容 鳥井野地区の地域住民が自由に参加交流できる体験型行事として、「鳥井野地区お山参詣」を65年ぶりに実施しました。準備段階から住民の手作りで行い、町会の歴史を子どもたちに伝える「語り部班」や「ご幣づくり班」など、各作業を役割分担して取り組み、お山参詣当日は、3歳から80歳まで総勢160人ほどの参加者がありました。一連の作業を通じて、地域住民のきずなが深まり、町会の伝統や文化を次世代へと継承することができました。

▽事業費／補助金額 149万8,262円／48万9,000円



10

### 「祝い唄二題」津軽山唄・津軽謙良節全国大会

▽実施団体 津軽山唄・津軽謙良節全国大会実行委員会

▽事業内容 津軽民謡の基本といわれる「津軽山唄」「津軽謙良節」の正しい伝承と保存および普及を図るため、津軽山唄・津軽謙良節の全国大会の開催と市内福祉施設へ慰問を行いました。全国大会では、中高齢者の出場者が多い中、比較的若い人の参加もあり、観覧者からはたくさんの拍手が送られ、民謡の保存・伝承や、津軽民謡を全国に広めていく土台ができました。

▽事業費／補助金額 95万2,487円／50万円



### 疑問な点などは気軽に問い合わせを

「1%システムとはどんな制度?」「事業を申請したいけど対象になるの?」など、簡単な制度の概要から具体的な書類の書き方まで、1%システムに関する質問や相談については、随時受け付けしていますので、気軽に問い合わせください。

### 平成25年度の事業募集予定

来年度に実施する事業の募集は、3次募集まで予定しています。

○2次募集期間…5月8日～6月7日（事業実施期間…8月1日～平成26年3月31日）

○3次募集期間…8月8日～9月6日（事業実施期間…11月1日～平成26年3月31日）

※制度の詳細や申請書類については、市民との協働推進課で配布するほか、市のホームページに掲載しています。なお、この制度に関する予算については、3月に行われる第1回市議会定例会で審議されます。予算案の可決をもって、制度を実施します。

▽問い合わせ先 市民との協働推進課市民協働係（市役所2階、窓口256、☎ 40・7108、Eメールshiminkyoudou@city.hirosaki.lg.jp）

# フォトコレ in ひろさき

市内各地で行われた  
イベントや  
まちの話題を  
お届けします。



## 弘前城雪燈籠まつり・ 弘前雪明り

2月8日～11日の4日間、弘前公園（下白銀町）を会場に「第37回弘前城雪燈籠（どうろう）まつり」が開催されました。園内には約180基の雪像や雪燈籠、大雪像（今年は「日本基督教団弘前教会」）、雪の大型滑り台などが設置されたほか、10日には初めての試みとして花火が打ち上げられ、期間を通して約32万人の来園者を楽しませました。

また、同時開催の「弘前雪明り」会場である北の郭（くるわ）にも、キャンドルの明かりを灯そうと多くの家族連れなどが訪れ、にぎわっていました。

2月10日

## 鬼神社・しめ縄奉納裸参り

2月10日、鬼沢地区の鬼神社において、400年以上続く伝統行事「しめ縄奉納裸参り」が開催され、大勢の市民らが見守る中、32人の下帯姿の男衆たちが冷水の張ったたるに何度も漬かって身を清めました。

地元の保育園に勤務している成田純也さんは、園児や職場の同僚たちの声援を受けながら入水。「子どもたちが元気で健康に過ごせるよう祈りながら入りました」と寒さに震えながらも笑顔をみせていました。

水ごりを終えた男衆らは、その後大しめ縄などを担いで地区内を練り歩き、各神社にしめ縄を奉納。五穀豊穣（ほうじょう）や家内安全などを祈願していました。



2月8日～11日



1月25日

## 文化財防火デー消防訓練

文化財防火デーを翌日に控えた1月25日、貴重な文化財を火災などの災害から守るために、誓願寺（新町）と高照神社（高岡字神馬野）において、消防訓練が行われました。このうち誓願寺では、庫裏の厨房から火災が発生し、重要文化財の山門へ延焼の恐れがあるとの想定で訓練を実施。参加者は放水銃で延焼阻止に当たるなど、真剣な表情で臨んでいました。



1月27日

## 弘前市リードマン認定証書授与式

理念を持って地域活動で活躍する人を認定する弘前市リードマン認定証書授与式が、1月27日、岩木文化センター（賀田1丁目）で開催されました。本年度は、佐藤初女さん（前列左）、一條敦子さん（前列右）、宮川克己さん（後列左）、南直之進さん（後列右）が認定され、これまでの活動経験を交えた講演会などをを行うことで、地域づくりの推進を図っていきます。



2月2日

## 小学生ねまり相撲大会

2月2日、市民体育館（五十石町）で、市内10校の小学校から3年生～6年生の男女133人が参加して「第36回ねまり相撲大会」が開催されました。児童たちは「はっけよい」の掛け声に合わせ、まわしを取って持ち上げたり、相手を左右に強く押したりと、熱戦を繰り広げ、土俵脇の仲間や保護者から大きな歓声が飛んでいました。



2月8日～11日

## 旧笹森家住宅を先行公開

仲町伝統的建造物群保存地区に4棟目の公開武家住宅となる「旧笹森家住宅」が復元され、2月8日～11日に先行公開されました。旧笹森家住宅は江戸時代中期ごろの建設と考えられ、同保存地区内では最古の武家住宅。当時の中・下級武家住宅の建築様式を色濃く残す建物です。3月中旬は毎週土・日曜日、祝日に開館しますので、皆さんも訪れてみてはいかがですか。




**イベント**
**弘前市民憲章書道作品展**

市では、一昨年の弘前城築城400年および合併5周年を機に、昨年1月1日に弘前市民憲章を制定しました。

このたび、市内の小・中学生から募集した弘前市民憲章書道の優秀作品を展示しますので、ぜひおいでください。  
**△とき** 3月2日～24日、午前10時～午後8時  
**△ところ** イトーヨーカドー弘前店(駅前3丁目)地下連絡通路  
**問**総務財政課 (☎ 35・1110)

**弘大ネットパトロール隊 ネット・ケータイ問題公開研究会**

**△とき** 3月16日(土)  
午後1時半～4時  
**△ところ** 弘前大学教育学部講義棟(文京町)1階中教室

**会員募集**
**ウィークエンド子どもクラブ**

小・中学生を対象に、ボランティアの皆さんを講師として、初心者向けのスポーツや文化・芸術など、さまざまな内容のクラブを開講します。

**△内容** 下表参照  
**△申し込み方法** はがきまたはEメール(住所・氏名〈ふりがな〉・性別・電話番号・保護者名・学校名・新学年・

希望するクラブ名(1つ)を記入)で、3月15日(必着)までに生涯学習課「ウィークエンド子どもクラブ」係(〒036・1393、賀田1丁目1の1、✉ shougai@city.hirosaki.lg.jp)へ。

※複数のクラブに申し込むことができます(1通につき1クラブまで)。応募多数の場合は抽選で決定します。また、各クラブの開始日などは、後日はがきまたはEメールでお知らせします。  
**問**生涯学習課(岩木庁舎内、☎ 82・1641)

クラブ名	活動日程	会場/内容	対象/参加料
子どもせん茶道クラブ	毎月第2・4土曜日の午前10時～午後4時	総合学習センター茶室/せん茶道のおけいこ	小・中学生=10人/毎回300円
やきもの子どもクラブ	毎月第1土曜日の午前9時半～11時半	総合学習センター工芸室/やきものを作ろう	小学校2年生～中学生=20人/毎回100円
女子ソフトテニスクラブ	毎週土曜日(4月中旬～3月)の午前9時半～正午	弘前公園・河西体育センター/ソフトテニスの基礎	小学校3年生～6年生の女子=20人/年間1,000円
弘前子どもウォーキングクラブ	毎月第3土曜日の午前9時～11時半	市内コース(市役所前集合)/ウォーキングの基礎	小・中学生=25人/年間500円
子ども囲碁クラブ	毎月第1・3土曜日の午前9時半～11時	市民参画センター/囲碁の手ほどき・実戦	小・中学生=30人/無料
日本舞踊を楽しむ会	毎月第1土曜日の午後0時半～2時半 毎月第3土曜日の午前9時半～午後0時半 ※6月15日から開講。	弘前文化センター(第1土曜日)、第三大成小学校(第3土曜日)/童謡、長唄、浴衣の着方	小・中学生=20人/無料
子どもサッカークラブ	毎月第1・3土曜日(5月～10月)の午前9時～11時	豊田小学校グラウンド、充雪トレーニングセンター/基本技能を身に付けサッカーで遊ぼう	小学生=20人/無料
いけばな子ども教室	毎月第1日曜日の午前9時半～11時半	弘前文化センター/いけばなの基礎	小・中学生=30人/毎回500円
子どもお琴クラブ	毎月第1土曜日(5月～3月)の午前10時～正午	弘前文化センター/琴演奏の基礎	小学校3年生～中学生=若干名/無料
弘前ねむの会ファミリー	毎週土曜日(第4土曜日は休み。春・夏・冬休みあり) の午後1時～4時	桔梗野小学校音楽室/歌と手話でのびのび歌おう、歌で英語に楽しく慣れよう	小・中学生=20人/無料(楽譜ファイルなど一部自己負担あり)

**△内容** 講演「情報機器類が子どもの心身に及ぼす影響について―学力成績面、現象面、ネット依存の三側面からの検討―」…講師・浅田豊さん(青森県立保健大学准教授)／トークセッション

**△定員** 50人(先着順)

**△参加料** 無料

**△申し込み方法** Eメール(氏名を記入)で、前日までに弘前大学ネットパトロール隊(✉ hirodai.netpat@gmail.com)へ。

**問**弘前大学ネットパトロール隊(阿保さん、☎ 携帯080・6054・6503)  
※平成24年度「学都弘前」学生地域活動支援事業費補助金の採択事業として行われます。

時半～午後2時半  
※前日までに申し込みを。

**△共通事項**

**△ところ** こどもの森ビジターセンター(坂元字山元、久渡寺境内)

**△参加料** 無料

**△持ち物** 昼食、飲み物、タオル、替えの下着・靴下、雨具、防寒着  
※豚汁を用意しますので、器を持参してください。

**△開館日** 毎週土・日曜日、祝日

**△その他** 3月30日まで樹木の冬芽展も開催中です(入場無料)。

**問**こどもの森ビジターセンター(☎ 88・3923)／市みどりの協会(☎ 33・8733)

**サタディプラン**

小・中学生を対象に、無料で土曜日に開催します。

**△日程・会場**

**【弘前文化センター(下白銀町) プラネタリウム】**  
**○対象** 小学生  
**○月例登山「春の久渡寺山登山」**

**△とき** 3月10日(日)、午前10時～正午  
**△対象** 小学生  
**△月例登山「春の久渡寺山登山」**  
**△とき** 3月17日(日)、午前9時半～午後4時半

10時半～11時／中央公民館(☎ 33・6561)

**【弘前図書館(下白銀町)】**

**○読み聞かせと図書館の探検隊** (絵本の読み聞かせ・紙芝居などと図書館地下書庫の探検)。対象は小学校1年生～3年生) 3月16日の午後2時～3時／弘前図書館(☎ 32・3794)

**【市立郷土文学館(下白銀町)】**

**○親子文学散歩** (クイズを解きながら観覧) 3月2日・9日・16日・23日の午前10時～正午／市立郷土文学館(☎ 37・5505)

**問**各会場へ。

**農業女性講演会**

市では、産直活動や加工品製造をはじめとする起業など、がんばる農業女性のさらなる飛躍を目的として講演会を開催します。

**△とき** 3月25日(月)午後2時半～4時

※受け付けは午後2時から。

**△ところ** 総合学習センター(末広4丁目)2階大会議室

**△内容** 講演「地域活性の先頭に立って」…道の駅経営から得た知識や経験を通じた「お金もうけは難しいか」「どんな努力が必要か」などのお話し

**△講師** 太田実さん(道の駅「上品(じょうほん)の郷」(宮城県石巻市)駅長)

**△対象** 市内の農業関連事業に従事する女性=50人(先着順)

**△参加料** 無料

**△申込締め切り** 3月22日

**問**農政課農業振興係(☎ 40・7102、✉ 32・3432)

**研究成果発表会**

さまざまな地域の課題に対応するために、まちづくりや地域の活性化に関するテーマで調査研究を行っている「弘前大学と弘前市との連携調査研究委託モデル事業」で本年度に採択された研究提案の成果を発表します。

**△とき** 3月19日(火)、午後1時半～3時

時半～(開場は午後1時)

**△ところ** 弘前大学医学部コミュニケーションセンター(在府町)2階大会議室

**△内容** 「観光資源を活用した運動散策マップ作成による生活習慣病対策及び観光推進に関連した研究事業」…代表研究者・山辺英彰さん(保健学研究科教授)／「弘前市における直売型農産物流通システムの展開方向に関する調査研究」…代表研究者・渋谷長生さん(農学生命科学部教授)／「弘前ねぶた祭りを事例とした地域祭礼の調査研究-地域祭礼におけるコミュニティ形成と観光資源としての活用-」…代表研究者・北原啓司さん(地域社会研究科教授)／「外部人材の定住促進による地域再生モデル調査」…代表研究者・檜原貢さん(地域社会研究科教授)

**△参加料** 無料

**問**3月12日までに、電話、ファックスまたはEメール(住所・氏名・年齢・電話番号を記入)で、企画課企画担当(☎ 35・1123、✉ 35・7956、✉ kikaku@city.hirosaki.lg.jp)へ。

**教室・講座**
**エアロビクス教室**

有酸素運動で健康的にシェイプアップしませんか。

**△とき** 3月12日・19日・26日の午後7時～9時(計3回)

**△ところ** 勤労青少年ホーム(五十石町)

**△内容** 初心者向けのエアロビクス

**△対象** 市内に勤務か居住の働く青少年(おおむね35歳まで)

**△定員** 15人(先着順)

**△参加料** 無料

**△持ち物** 室内用シューズ、タオル、運動のできる服装

**問**3月10日までに、勤労青少年ホーム(☎ 34・4361)へ。

**女性の健康週間 市民公開講座**

**△とき** 3月17日(日)、午後2時半～3時

時～4時

**△ところ** ホテルニューキヤッセル(上鞘師町)新館2階曙の間

**△テーマ** 「思春期から更年期・老年期までの女性の健康を考えよう」

**△内容** 講演「女性のライフサイクルと健康管理～生理痛の軽減法も含めて～」…講師・吉村泰典さん(慶應義塾大学医学部産婦人科教授・日本生殖医学会理事長)

**△対象** 市民

**△入場料** 無料

**問**弘前市医師会(☎ 32・2371)

**プラネタリウム**  
**[弘前文化センター]**

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

□…一般投影を午後1時半～午後3時～の2回投影

□…一般投影を午前10時半～午後1時半～午後3時～の3回投影

□…わくわく☆子どもプラネを午前10時半～の1回、一般投影を午後1時半～午後3時～の2回投影

■…休館日

**★投影プログラム**
**【一般投影/45分間】**

**△テーマ** 星空の1年間

**△観覧料** 一般=240円/小・中学生、高校生=120円

※65歳以上の市民、市内の小・中学生や障がい者、外国人留学生は無料。年齢や住所を確認できるもの提示を。

**【わくわく☆子どもプラネ/30分間】**

**△テーマ** 大きい星座と小さい星座

## ほっと・ほらんていあ 参加者募集

気軽に誰でも参加し、情報収集ができるボランティア講座です。

▽とき 3月16日(土)

午後1時半～3時半

▽ところ 市民参画センター(元寺町)3階グループ活動室

▽テーマ 「自分を好きになる魔法のレシピ」

▽内容 簡単なゲームやワークを通じてのコミュニケーションスキルの習得

▽ゲスト 吉町友美さん(青森県若者サポートステーションキャラクターサルタント)

▽参加料 無料  
※事前の申し込みは不要。

問ボランティア支援センター(市民参画センター内) ☎ 38・5595

## プールで体力づくり教室

▽とき 4月2日～5月7日の毎週  
火曜日、午後1時～2時

▽ところ 温水プール石川(小金崎字村元)

## 弘前図書館 3月の催し

○おたのしみおはなし会  
▽とき 毎週土曜日の午後2時～2時半

▽内容 「ともだち」をテーマとした、絵本の読み聞かせ、紙芝居、昔話、エプロンシアター、なぞなぞなど

▽対象 おおむね4歳～小学校低学年児童

○だっこでおはなし会  
▽とき 3月23日(土)

午前10時半～11時

▽内容 絵本の読み聞かせ、手遊び、ブックトークなど

▽対象 0歳～3歳の子と保護者～共通事項～

▽ところ 弘前図書館(下白銀町)1階閲覧室おはなしコーナー

▽参加料 無料  
※事前の申し込みは不要。

問弘前図書館(☎ 32・3794)

▽内容 水中でのストレッチ、体操、ウォーキングの基本から応用、簡単な筋力トレーニング、ゲームなど

▽対象 市民=20人

▽参加料 無料(各自傷害保険などに加入を)

▽申し込み方法 往復はがきに、住所・氏名・生年月日・電話番号・教室名を記入し、3月15日(必着)までに、河西体育センター(〒036・8316、石渡1丁目19の1)へ。  
※はがき1枚で1人とし、応募多数の場合は抽選で決定します。

問河西体育センター(森下さん、☎ 38・3200)

## 星空観察会inプラネ&ロマン トピア～宇宙食レストラン味見編～

【超初心者のための星空講座～プラネタリウムから森林科学館までをバスで巡り、冬の夜空の星々と宇宙の不思議にどっぷりとひたる星空遠足の極寒版～】

プラネタリウムで冬の星空の特徴を覚えてから、街明かりの少ない森林科学館で天体望遠鏡や双眼鏡を使った天体観察と宇宙食の味見をします。

▽とき 3月23日(土)  
午後6時15分～9時15分  
※午後6時から弘前文化センター(下白銀町)3階プラネタリウム展示ホールで受け付けし、プラネタリウム観覧後、バスで森林科学館(水木在作家桜井)に移動。星空観察と宇宙食の試食後、弘前文化センターに帰館し解散。

▽講師 蒔苗智之さん、藤田栄一さん(天文台解説員)

▽対象 市民=40人(先着順)  
※小学生以下は保護者同伴で。当日の申し込みは不可。

▽参加料 無料(ただし、複数の宇宙食を味見するため、500円程度の負担をお願いします)

▽その他 荒天時でも実施します/プラネタリウムまたは森林科学館どちらかのみの参加はできません/弘前文化センター駐車場は最初の1時間を超えると有料です/野外での観察がありますので、スキーウエア上下の着用など、防寒対策は十分に

問電話、ファクスまたはEメール(住所・氏名・年齢・電話番号を記入)～8時/⑤水曜日の午後6時半～8時/④水曜日の午後6時半～8時/③火曜日の午後6時半～8時/②月曜日の午前10時40分～午後0時20分/①月曜日の午前9時10分～10時40分

で、3月15日までに、中央公民館(☎ 33・6561、☎ 33・4490、✉ chuuoukou@city.hirosaki.lg.jp、火曜日は休み)へ。

## 生きがい教室

4月～平成26年3月の1年間の受講者を募集します

○城西老人福祉センター(城西4丁目)

教室名	主な活動日程	定員
詩吟教室	毎月第2・4土曜日 午後1時～3時	15人

▽対象 おおむね65歳以上の市民  
▽受講料 無料

▽申し込み方法 3月31日までに、直接来所して申し込みを。

問城西老人福祉センター(☎ 38・0858)

※月曜日と祝日の翌日は休館日。  
○鷹ヶ丘老人福祉センター(西茂森1丁目、天満宮境内)

教室名	主な活動日程	定員
絵画教室	毎月第1・3火曜日 午後1時～3時	20人
俳句教室	毎月第1・3木曜日 午後1時～3時	20人
短歌教室	毎月第2・4木曜日 午後1時～3時	20人
書道教室	毎月第2・4金曜日 午後1時～3時	20人

▽対象 おおむね65歳以上の市民  
▽受講料 無料(一部の教室は教材費が必要)

▽申し込み方法 3月20日までに、直接来所して申し込みを。電話での申し込みはできません。

※受講希望者が定員を超えた場合は、抽選で決定します。

問鷹ヶ丘老人福祉センター(☎ 32・7260)

※月曜日と祝日の翌日は休館日。

## 二一ハオ中国語教室

▽とき 4月8日～9月12日(各教室共通・全17回)

▽教室・曜日・時間 【入門】①月曜日の午前9時10分～10時40分/②月曜日の午前10時40分～午後0時20分/③火曜日の午後6時半～8時/④水曜日の午後6時半～8時/⑤水曜日の午後8時10分

～9時40分/⑥木曜日の午後6時半～8時/⑦木曜日の午後8時10分～9時40分 【初級】⑧水曜日の午後6時半～8時/⑨月曜日の午前10時40分～午後0時20分/⑩木曜日の午後6時半～8時/⑪木曜日の午後8時10分～9時40分 【準中級】⑫月曜日の午前9時10分～10時40分/⑬火曜日の午前10時～11時半/⑭水曜日の午後8時10分～9時40分 【上級】⑮火曜日の午後6時半～8時

▽ところ ①・②・⑨・⑫=市民参画センター(元寺町)/⑥・⑦・⑩・⑪=総合学習センター(末広4丁目)/④・⑤・⑧・⑭=西交流センター(城西4丁目)/③・⑬・⑮=南富田町体育センター(南富田町)

▽講師 顔小妹さんほか  
▽定員 各教室8人

※申込人数が少ない教室は開催しないこともあります。  
▽受講料 1万3,000円  
※別途テキスト代として1,000円～2,300円が必要。

問二一ハオサークル事務局(平山さん、携帯090・9534・0848、✉ h9534r0848@docomo.ne.jp)

## かけっこ教室

▽とき 4月3日～5月8日の毎週水・金曜日、午後4時半～5時半

▽ところ 河西体育センター(石渡1丁目)アリーナ

▽内容 用具を取り入れながら走る・跳ぶ・ける・投げるなどの全身運動、ラダー・ミニハードルを使って足を細かく早く動かすトレーニング

▽対象 走りが苦手な小学校新1・2年生=20人

▽参加料 無料(各自傷害保険などに加入を)

▽持ち物 飲み物、汗ふきタオル、室内専用シューズ

▽申し込み方法 往復はがきに、住所・氏名・生年月日・電話番号・教室名を記入し、3月15日(必着)までに、河西体育センター(〒036・8316、石渡1丁目19の1)へ。  
※はがき1枚で1人とし、応募多数の場合は抽選で決定します。

問河西体育センター(☎ 38・3200)

3200)

## 筋トレ・脳トレ 水中ウォーキング教室

▽とき 4月4日～5月9日の毎週木曜日、午前10時半～11時半

▽ところ 河西体育センター(石渡1丁目)

▽内容 水中ウォーキングの基本から応用、ストレッチ、バランスを重視したトレーニング

▽対象 おおむね50歳以上の市民=15人  
▽参加料 無料(各自傷害保険などに加入を)

▽申し込み方法 往復はがきに、住所・氏名・生年月日・電話番号・教室名を記入し、3月15日(必着)までに、河西体育センター(〒036・8316、石渡1丁目19の1)へ。  
※はがき1枚で1人とし、応募多数の場合は抽選で決定します。

問河西体育センター(☎ 38・3200)

## 緑の相談所

3月の催し

### 【展示会】

●花の写真展 6日～10日

●桜の花展 22日～31日

### 【講習会】

●春の庭木のせん定 16日

●家庭果樹の手入れ 23日

●シンビジュウムの植替え 30日  
※時間はいずれも午後1時半～3時半。

●休館日 毎週月曜日、21日

問緑の相談所(☎ 33・8737)

務所(二葉さん、☎ 88・8781)

## 水道料金等の口座振替について

水道料金および下水道使用料の支払いは、便利で確実な口座振替をお勧めします。口座振替にすると、請求月の翌月26日(土・日曜日、祝日の場合は次の日)に口座から引き落としになります。残高不足などで引き落としができなかった場合は、翌月の9日に再度、引き落としを行います。

口座振替依頼書は、市内の各金融機関(農協、ゆうちょ銀行を含む)に備え付けていますので、通帳と届出印、水道料金等の請求書を持参し、手続きをしてください。また、上下水道部の窓口でも手続きができます。  
問上下水道部営業課収納係(茂森町、☎ 36・8103)

## 遺児等に入学祝金を支給します

市内に居住し、父や母が死亡または重度の障がいがある家庭などで、今年4月に小・中学校に入学する児童を養育している人に支給します。

対象者には、2月下旬に申請用紙を送付しましたが、届かない人でも、該当すると思われる場合はご連絡ください。

▽祝金の額 1人につき7,000円(4月下旬に支給)

▽提出期限 3月29日

▽提出先 子育て支援課家庭支援係(市役所1階、窓口109、☎ 40・7039)、岩木総合支所民生課、相馬総合支所民生課、各出張所

## 市民農園の利用者を募集します

市では、4月に開園する小栗山農村交流公園内農園（小栗山字沢部）と相馬昂農園（湯口字二ノ安田）の利用者を募集します。

▽対象 農家以外の市民

▽区画数および使用料

### 【小栗山農村交流公園】

○1区画 50m<sup>2</sup> = 100区画／年間 5,000円

○1区画 48m<sup>2</sup> = 21区画／年間 4,800円

○児童が利用できる学童農園、車いすで利用できる農園＝無料（利用希望者は相談を）

※ハーフバスケットコートや多目的広場も無料で利用できます。

### 【相馬昂農園】

○標準区画（30m<sup>2</sup>） = 258区画／年間 3,000円（標準区画に満たない面積を使用する場合は1m<sup>2</sup>につき100円を乗じた額）

※管理棟（集会室・休憩室）や炊事棟が有料で利用できます（農園利用者は無料）。

▽申し込み方法 申請書に必要事項を記入し、郵送または持参で、3月19日まで（土・日曜日を除く）に、小栗山農村交流公園は農政課へ、相馬昂農園は相馬総合支所総務課へそれぞれ提出を。いずれも申込者が多数の場合は抽選になります。

※申請書はそれぞれの課に備え付けているほか、市ホームページ（市民農園のページ）からダウンロードできます。

■農政課計画推進係（〒036・8551、上白銀町1の1、市役所4階、窓口452、☎ 40・7102）／相馬総合支所総務課農林係（〒036・1592、五所字野沢

41の1、相馬庁舎1階、☎ 84・2111、内線841）

このほか、農家などによる市民農園が開園します。詳しくは、各市民農園にお問い合わせください。

■市民農園ナリタ（乳井字石田、☎ 携帯090・2604・7512）

○1区画 50m<sup>2</sup> = 20区画／年間 5,000円

■市民農園弘前アグリインホリデー（小沢字広野、☎ 87・8888）

○1区画 50m<sup>2</sup> = 56区画／年間 7,000円

■市民農園ひまわり（宮地字川添、☎ 82・1055）

○1区画約 30m<sup>2</sup> = 170区画／年間 3,000円

## 緊急速報メール

### 「災害・避難情報」

市では、緊急速報メールを提供している通信事業者（NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクモバイル）の配信サービスを導入しました。

配信エリア、対応機種などの最新情報については、各通信事業者のホームページでご確認ください。

### 【緊急速報メール】

気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けて受け取ることができます。なお、対象エリア内の人には、無料で利用できます。

■防災安全課（☎ 40・7100）

## 文化グループ会員募集

中央公民館（下白銀町、弘前文化センター内）で活動している「手編みの会」の会員を募集しています。初心者・経験者問わず歓迎します。

まずは見学においでください。

▽活動日 水曜日（月3回）の午前9時15分～11時45分

▽ところ 弘前文化センター2階第3会議室

▽内容 セーター・ベストなどの製作

▽講師 加藤桃子さん（日本編物検定協会講師）

▽定員 若干名

▽会費 月額1,700円

■電話かファクスで、中央公民館（☎ 33・6561、F 33・4490、火曜日は休み）へ。

## 軽自動車税の申告を忘れずに！

農地や敷地内などで使用し、道路を走行しない小型特殊自動車や原動機付自転車も、軽自動車税の申告（届け出）が必要です。

軽自動車税は、所有していることに対してかかる税金ですので、取得時は忘れずに申告しましょう。

■市民税課諸税係（☎ 35・1117）

※市で交付している「標識」は、軽自動車税の申告があった車両を識別するためのものです。道路の走行については、製造元や販売店などにご確認ください。

## 夜間・休日納税相談のご利用を

▽夜間納税相談 3月14日・15日・18日・19日・21日・22日の午後5時～7時半

▽休日納税相談 3月17日・24日の午前9時～午後4時

納期限までに納付できない事情がある人は、未納のままにせず、ぜひ相談をおいでください。

今月の休日納税相談日は第3・4日曜日です。この日は電話での相談

や、市税などの納付もできます。

※特別な理由がなく、納付および連絡がない場合は、差し押さえ処分を執行することもあります。

■回収課（市役所2階、窓口205、☎ 40・7032、40・7033）

## 福祉と暮らしの相談会

身近な悩みについて、福祉と法律の専門家が相談に応じます。一人で悩まず、気軽に相談してみませんか。

▽とき 3月20日（水・祝）

午前10時～午後3時

▽ところ 市立観光館（下白銀町）1階多目的ホール

▽内容 福祉・法律に関すること、成年後見、遺言、介護、障がい問題など

▽相談料 無料

▽申し込み方法 3月5日～15日の午前10時～午後4時に、電話またはファクスで申し込みを。

■権利擁護あおい森ねっと（☎ 55・0890、F 55・0891）

※平成24年度市民参加型まちづくり1%システムの採択事業として行われます。

## 多重債務相談会

多重債務者が債務を整理して生活再建に向かうための手助けとして、弁護士が無料で相談に応じます。

相談を希望する人は、事前予約の上、債務状況が分かる資料を持参してください。詳細は問い合わせを。

▽とき 3月23日（土）

午後1時半～3時半

▽ところ 市民生活センター（土町分庁舎内）

▽対象 市民

■市民生活センター（☎ 34・

3179）

## 第29回弘前城ミス桜コンテスト



観光弘前に彩りを添える「第29回弘前城ミス桜コンテスト」を開催します。

選ばれた皆さんには、市の四大まつりや県内外での各種観光イベントやキャンペーンなどで弘前をPRするために活躍していただきます。

▽とき 4月14日（日）

午後1時～

▽ところ 弘前文化センター（下白銀町）2階大会議室

▽選出 ミス桜グランプリ=1人／ミス桜=2人

※ミス桜グランプリには総額約60万円相当の賞金・賞品を、ミス桜には総額約20万円相当の賞金・賞品を贈呈。また、決勝審査参加者にも記念品を贈呈します。

▽選出方法 一次審査（書類選考）で15人程度を事前に選出し、会場での決勝審査で決定。書類審査の結果は、東奥日報の紙上に掲載するほか、郵送で通知します。

▽応募資格 満18歳～28歳の高校生を除く未婚女性で、津軽地域（青森市を含む）に住んでいる人

▽申込先 3月29日までに、申込用紙に住所、氏名、生年月日、電話番号、学歴、職業（勤務先）、趣味などを記入し、顔写真・全身写真を各1枚張り、次の①か②に申し込みを。

申込用紙も用意しています。

①東奥日報社弘前支社（〒036・8207、上白銀町3の4、☎ 34・5151）

②弘前市観光物産課（〒036・8551、上白銀町1の1、市役所5階、☎ 35・1128）

●写真は昨年のミス桜の皆さん

## 鶏を含む家畜を飼養する皆さんへ

### 【平成25年定期報告の時期になりました】

平成23年に「家畜伝染病予防法」の一部が改正され、鶏を含む家畜の飼養者は、毎年、定期報告することが義務付けられていますので、次の家畜の飼養者は忘れずに報告を。

### ▽報告対象

①鶏（青森シャモロック、比内鶏、烏骨鶏（うこっけい）、軍鶏（しゃもし）、チャボ、声良鶏（こえよしどり）、金八鶏（きんぱどり）などを含む）、アヒル、ウズラ、キジ、ホロホロ鳥、七面鳥、ダチョウ

②鳥類以外（牛、馬、豚、ヤギ、めん羊、イノシシ、シカ）

▽報告内容 平成25年2月1日現在の頭羽数

▽報告方法 所定の様式「定期報告書」に記入し、郵送または持参で農政課（〒036・8551、上白銀町1の1、市役所4階）へ。

※報告書の様式は、同課で配布しているほか、つがる家畜保健衛生所ホームページ（http://www.applenet.jp/~tsugaru-kaho/）に掲載しています。

▽報告期限 3月15日

■農政課（☎ 40・7102）／西北地域県民局地域農林水産部つがる家畜保健衛生所（☎ 0173・42・2276）

## 自殺予防 ～気づき つなぎ 見守り～ のために

# 地域のつながりこそが、大切な「命と暮らし」を支えます

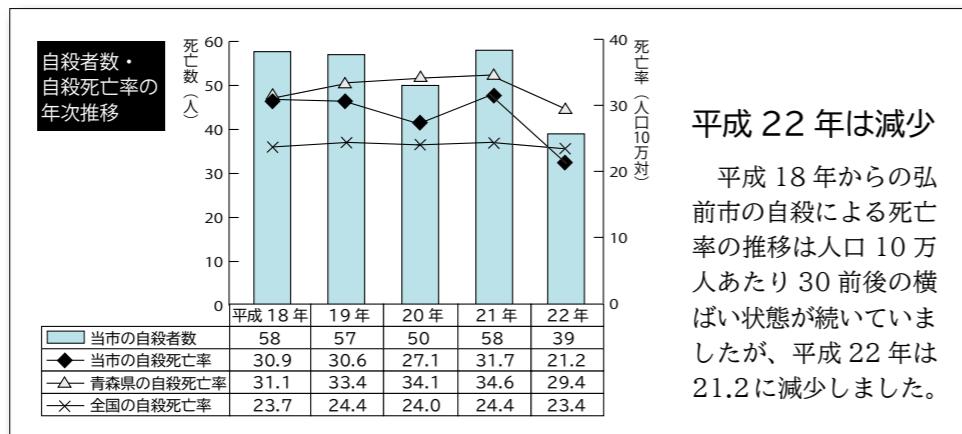
～安心して暮らせる地域づくり事業から～

■問い合わせ先 健康推進課 (☎ 37・3750)

### 平成 24 年度 心の健康づくり対策

市では、「弘前市アクションプラン 2012」の「約束 5 命と暮らしを守ります」に基づき、心の健康づくりのための相談支援、普及啓発、人材養成を行っています。

さらに、昨年度から引き続き自殺予防を切り口とした住民参加型の地域づくりに取り組み、自殺者数の減少を目指しています。



### 安心して暮らせる地域づくり事業～高崎町会・桜庭町会～

この事業は、町会の全面的な協力のもと、町会に住んでいる人を対象にアンケートやインタビューを行い、地域の現状を把握するとともに、より良い地域づくりのためのアイデアを見いだし、地域の人々と一緒に取り組ん

でいくものです。

平成 24 年度は、昨年度から取り組んでいる高崎町会に加え、新たに桜庭町会でも実施しました。



自分たちでできることについて検討するきっかけとなりました。

②タウンミーティング～一人暮らしでも大丈夫、と思えるコミュニティ～へ

地域のリーダーを先頭に、訪問調査や講演会から得たことを基に、自分たちができる新たな取り組みに向けて動き出そうと話し合いがなされ、地域の独居高齢者への支援がスタートしました。町会の役員を中心高齢者へ電話と家庭訪問を定期的に行い、必要時には行政などにつなぐ活動です。始まったばかりの取り組みですが、「心配しているという“こころ”が大事だった」ということに気付き、住民同士のつながりや信頼関係があらためて構築されるコミュニティづくりの基盤となりました。

### Case 1 高崎町会

#### 【昨年度の取り組みから得た、より良い地域づくり（自殺対策）のアイデア】

- ①人との交流…周囲の人と助け合い、支え合う関係づくりが心の安心感に
- ②活発な集会所活動…新たな交流を生み出すきっかけの場
- ③町会、町会役員への信頼…地域リーダーへの信頼は地域交流の活発化へつながる
- ④自分でできることは自分で行う…心身の健康のために自分なりの対処法を持つ
- ⑤住みよい住環境…高齢になっても生活に便利な地域が、健康と安心を支える一因に

#### 【新たな取り組み】

- ①講演会～地域活動に参加できない人を支援につなげたい～（講師・佐々木久長さん（秋田大学大学院准教授））
- 住民同士のつながりや、自分自身の心の持ち様について振り返る機会となり、これから一歩ずつ前に向かって

安心して暮らせる地域づくり事業講演会

### Case 2 桜庭町会

◆桜庭町会…東目屋地区にある町会で、市中心部までは車で 30 分程度のところに位置しています。山と川に囲まれ、農家世帯が多い地区です。

#### インタビュー結果【調査協力者：7人（男3人・女4人）】

##### 1 Question

この地域で安心して暮らしていますか？

##### Answer

○安心と感じる理由  
…近所づきあいがある、住みよい環境（自然が豊か）、家族との交流がある、教育・学校との連携がある、趣味があるなど

##### 2 Question

困ったことはありませんか？

##### Answer

○少子高齢化  
○住環境（クマやサルが出る、夜道が危険、買い物をする場がない）  
○雪問題  
○病気・健康問題  
などが挙げられました。

##### 3 Question

困ったことをどのように解決していますか？

##### Answer

○地域との交流  
○協力し合いながらの除雪や野生動物対策  
○安全への配慮  
○健康への配慮  
などが挙げられました。

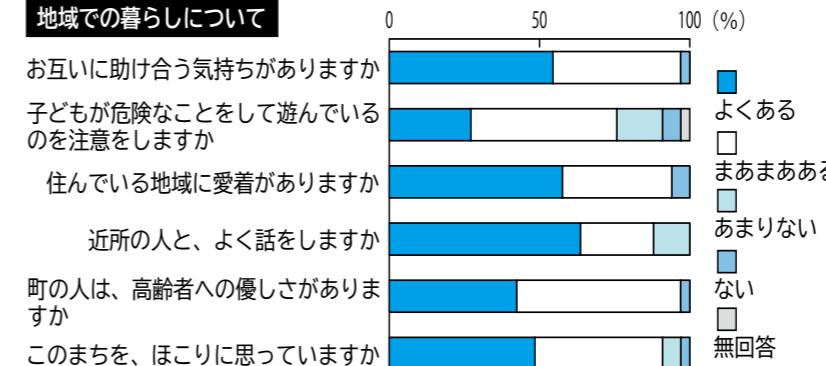
#### 調査結果から見えてきたもの

ほとんどの人が地域に愛着や誇りをもっており、住民同士の交流が深く互いに協力して暮らしていることがうかがえました。その要因として、古くからの顔なじみの人が多いことや、住みよい環境であることなどが挙げられ、これらのことから、近所の信頼関係や人間関係を肯定的にとらえている地域であると思われました。

また、雪問題、健康問題などの困りごとや不安を抱えている場合であっても、家族や周囲の人と協力して解決するなど、自分たちなりの解決法を持っている人が多いということが分かりました。

#### アンケート結果【調査協力者：33人（男9人・女24人）】

##### 地域での暮らしについて



2つの町会での取り組みを通じて、地区全体で支え合い、つながり合っていると実感できる地域づくりが、日々の生活への安心感をもたらし、心身の健康と安心を支える大きな要因となることが分かりました。

市では、自分たちでできる範囲で取り組もうとい

地域の気運を高め、その活動がさらに多くの地域に広がるよう支援したいと考えています。

活動に興味を持っている町会がありましたら、気軽に問い合わせください。

#### こころの健康相談

弘前市保健センターでは、本人や家族の心の悩みについて、保健師が面接して相談に応じています。希望する人は事前に電話で申し込んでください。相談は無料です。

▽3月の相談日 12日・26日

※時間は午前 9 時～午後 3 時半。

▽ところ 弘前市保健センター

▽予約受付時間 午前 8 時半～午後 5 時（土・日曜日、祝日を除く）

▽予約先 弘前市保健センター（野田 2 丁目、☎ 37・3750）

※「こころの病気」の治療をしていない人を優先します。現在治療している人は、まず主治医に相談を。



## 健康の掲示板

弘前市保健センター（野田2丁目）☎ 37・3750



母子健康手帳の持参を。場所は弘前市保健センター（各指定医療機関での個別健診を除く）で、料金は無料です。なお、発熱など体調不良の場合は、次回に受診してください。★は対象者に健康診査票を送付します。

名 称	と き 内 容	対象・定員	申込先
乳幼児の健康診査	4か月児★ 7か月児★ 1歳6か月児 3歳児 1歳児歯科 2歳児歯科★	各指定医療機関での個別健診 3月 27日・28日/ 受付=午後0時半～1時半 3月 6日・7日/ 受付=午後0時半～1時半 3月 13日・14日/ 受付=午後0時半～1時 対象=平成22年9月生まれ…各指定歯科医療機関での個別健診	
離乳食教室	3月 18日（月）、午後1時～2時半/受付=正午～午後0時50分 離乳食講話・グループプレスン／ミニ講話（親子のふれあい、これから始める歯みがき）／身長・体重測定／育児相談 ※歯の相談希望者は歯ブラシを持っている場合は持参を。	平成24年10月生まれ 3月 1日から、弘前市保健センターへ。	
ベビー相談	3月 15日（金）/受付=午後1時半～2時（相談が終わり次第終了） 子育て相談／身長・体重測定 ※歯の相談希望者は普段使っている歯ブラシの持参を。	乳児（1歳未満）とその家族 3月 1日～14日に、弘前市保健センターへ。	
キッズ相談	3月 15日（金）/受付=午前10時～11時（相談が終わり次第終了） 子育て相談／発達相談（時間予約制）／身長・体重測定／栄養士のミニ講話（午前11時～） ※歯の相談希望者は普段使っている歯ブラシの持参を。	幼児（1歳以上）とその家族 3月 1日～14日に、弘前市保健センターへ。	



市の各種検診は、年度内に1回受診できますので、まだ受けていない人はお早めに申し込みを。

名 称	と き 内 容	対象・定員 料 金	問い合わせ・申込先
セット検診	3月 11日～15日 胃・肺・大腸がん検診（50歳以上は前立腺がん検診も受診可（別途500円））	40歳以上の市民（職場で受診できる人を除く） ※定員になり次第締切。 1,900円（市の国保加入者は950円、70歳以上の人には無料）	3月4日から、弘前市医師会健診センター検診課（☎ フリーダイヤル0120・050・489、平日…午前9時～午後4時（正午～午後1時を除く））へ。
女性の健康診査	3月 13日 血液検査、尿検査、内科診察、骨密度検査など	18歳～39歳の主婦や自営業の女性（職場で受診できる人、妊娠中やその疑いのある人などを除く） ※定員になり次第締切。 800円	3月4日から、健康推進課（弘前市保健センター内、土・日曜日、祝日を除く午前8時半～午後5時）へ。
医療機関での検診	胃・大腸・前立腺・子宮・乳がん検診、骨密度検診、結核検診は、医療機関でも受診できます。直接、「市の検診」と伝えて問い合わせを。詳細は「健康と福祉ごよみ」で確認するか、健康推進課へお問い合わせください。なお、乳がん検診については、国の指針に基づき、対象年齢を見直しし、来年度の対象は40歳以上の人です。		

## もっと②弘前！！

学生企画コーナー



## 市長車座ミーティング

市の広聴事業（※）の取り組みとして毎月1回行われている「車座ミーティング」を取材してきました！今号ではその様子を紹介します。

※市の広聴事業は、「車座ミーティング」のほかに、「わたしのアイデアポスト」「市政懇談会」「出前講座」「パブリックコメント」などがあります。

活動していけばよいのか、ということを女性ならではのさまざまな切り口から葛西市長と意見交換していました。



車座ミーティングは、市長と市民が市政に関して直接意見交換を行うことにより、市民の情報共有を促進し、市政に関する知識を深めてもらい、市民参画・市民の声に応える市役所づくりのために開催されているものです。

今回の参加団体は「弘前地区女性会」。昨年5月に結成され、90人ほどの会員で構成された会です。会の活動である女性大学では、30歳

## 車座ミーティング終了直後の葛西市長にお話しを聞きました！



「持続可能な社会にするために現状把握・課題・対策が必要であり、年齢に関係なく女性が輝くためのアイデアや考え方を市政に反映させるための良い機会であった。これからは、次の世代を担う人を育てようとする団体とも意見交換をし、弘前市のコミュニティの輪を広げていきたい」と葛西市長。また、ひろ♥レポの活動にも期待を寄せていただき、今後の活動の励みとなりました！今回の車座ミーティングの取材を通して、もっと市内の団体や、若い人たちが車座ミーティングを利用することで、より良い弘前のまちづくりへつながっていくのではないかと感じました。

市長と直接話す絶好の機会です。皆さんもぜひ参加してみてはいかがでしょうか（＾＾）

## 3月で卒業するメンバーから一言



ひろ♥レポに参加して、本当に多くの貴重な経験をすすることができました。取材を通して弘前が大好きな市民の皆さんとの出会い、辛い時支えてくれる仲間、広聴広報課の職員の皆さんからの優しく時には厳しい指導。私たちの活動を見守ってくれた市民の皆さんにも心から感謝しています。弘前の知られざる魅力に触れ、今まで以上に弘前が好きになりました。今までお世話になつた人に恩返しができるよう、そして、地域活性化に貢献できるよう努力していきます。今まで本当にありがとうございました。

笹都子  
弘前大学教育学部4年

日野口早希  
弘前大学人文学部4年

地元は三沢市ですが、私にとって弘前市は第2の故郷です。ひろ♥レポでの弘前に密着した取材を通して、弘前がますます好きになりました♥♥♥弘前には、城下町ならではの歴史ある街並み、温かみのある津軽弁、おいしいリンゴに日本一の桜…など、地域資源が豊富にありますが、一番大きな地域資源は弘前市民です！ひろ♥レポを通じて地域に密着できたからこそ、これに気付かせてくれたひろ♥レポに感謝しています！ありがとうございました（＾＾）

ひろ♥レポとは…若者目線で弘前のことを伝えようと発足された、広報ひろさきで学生企画コーナーを担当する女子大生グループです。問い合わせやご意見・ご感想はEメール（hiro.repo@gmail.com）で。Facebook（http://www.facebook.com/hiro.reporters）、Twitter（@HiroRepo）もやってます！興味のある人はどうぞ（＾＾）

読者の  
ひろば今月のテーマ  
「なまり・方言」

読者のひろばは皆さんから寄せられたハガキなどでつくるページです。

## 津軽弁・南部弁

20歳代のころ3年間、三戸郡の保育園で働いていました。今と違つて、子どもたちも、保護者たちも、南部弁で話していました。特にお年寄りたちの南部弁はわかりにくくて困っていました。例を挙げると、「マイネ」は「ワガネ」、不美人は「メグセ人」と言っていました。そのた

め、仕事上のミスもありました。テレビの「お国ことばで川柳」で、南部弁の川柳が放送されると、懐かしいです。(細川安津子さん)

## 方言に誇りを!

数年前に津軽弁が外国語に聞こえる某社のテレビコマーシャルを覚えていますか。私も某研修先の宴会で「あばてどら」を言つたら、フランス語うまいね、通じるかもとやじられ、錯覚で赤面したエピソードを思い出します。

ちなみに、「あばて・どら」は、「奥様お手を拝借」。フランス語も同様と聞かされたが疑念を持っています。でも、うそか本当かは別として、ふるさとの方言はいい…。大切にしたいものです。(P.N. 柚夢さん)

## 方言「ありがとう」

関西、関東、東北と3回転居しました(関西、関東それぞれに30年余り)。津軽弁は3年目になります

が、まったく分かりません。大阪では、「ありがとう」を「おおきに」と電話の場合、早口で「おおきに、おおきに」と繰り返すところが大阪商人らしい感じがします。京都では同じように電話で「おおきに」または「お越しやす」と付け加え、情調豊かな都らしさを感じさせられます。東京は「ありがとうございます」。言葉は多種多様で難しいです。これからは津軽弁を聞き分けるよう努めたいと思っています。(岡田喜光さん)

## イモ洗い

数年前、大正生まれの母が病院に行って帰ってきた時のことです。母と私の会話。母「この次、病院で“イモ洗い”を入れてしまはれだはんで」、私「温泉さでも連れでいぐんだが?」、母「なもや、検査だはんで…」、私「イモ洗いって何ば検査すすよ?」、母「わだきやわがらねじや、先生そすてしゃべったはん

で」。すると、隣で聞いていた孫が「お父さん、それだきや、きっと“MR I”のことだね」。なるほどおと家族一同大笑いしたものです。

津軽弁っていいもんですね。とつぱれ。(木村政巳智さん)

## 我(わ)の方言

東京、大阪、札幌と県外どこに行っても地のままで会話し、家に帰ってきます。年中そうです。何の支障もなく数十年。ところが、昨年の2月、県内で一番雪の多かった日に青森で研修会があり、仲間4人で弘前駅に行くと、「雪のため電車は運休ですが、まもなく大阪より特急・日本海が来るのでそれにお乗りください」とのアナウンスがあったので、日本海に乗り、川部駅に着いたら、2時間ほど電車が動かず、今度は「新青森駅と空港に行く人はJRのバスが出ます」とのアナウンス。さすがに頭にきた私は乗務員の人に「弘前さ戻る人はどうすればいいんだき

や?」と聞いたら、私の顔を見るばかり。「どだたきや」と言っても返事が返ってこない。「あだ、大阪の人だが」と言つたら通じましたが、私は「おめだば、まねじや」と駅に向かいました。半分、何言ってるかわかってるベサ!!でも人生の3分の2全部津軽弁でじやべってきたんだもの。(古山和子さん)

## なまり・方言

民放ラジオですき焼きの肉の話をする女子アナ。霜降り牛がおいしいとか好きだと、「高級肉を食べている私」感がビンビン伝わり、「うちではそんないい肉は買えない。一般はオーストラリア産かアメリカ産。津軽では昔から豚肉がすき焼きの定番だ」と思って聴いていると、「私のこだわりは…」ときた。「卵をしっかり“かます”ことです」だって。わげ者よ、いいふりこぐんじやない! ばげの皮はがれてしまったべー。(千葉タキさん)

4月生まれ  
写真募集中!

1歳の記念に写真を掲載してみませんか。

★対象 平成25年4月に1歳の誕生日を迎える市内在住の子

★掲載内容 子どもの写真・氏名(ふりがな)・生年月日・住所(町名まで)

★応募方法 ①子どもの写真1枚(プリント・データのどちらか)に、②子どもの氏名(ふりがな)・生年月日・性別、住所、保護者氏名、電話番号を記入したものを添えて、3月12日(必着)までに、郵送、持参またはEメールでご応募ください。

★問い合わせ・応募先 広聴広報課広報係(〒036-8551、上白銀町1の1、市役所2階、窓口258、☎35-1194、Eメールkouhou@city.hirosaki.lg.jp)

Smile  
通信

## 3月生まれ



かわむら はるき  
川村 春稀くん  
H24.3.27生(宮園4)



おがさわら あらた  
小笠原 新くん  
H24.3.18生(如来瀬)



しぶたに はると  
濱谷 晴斗くん  
H24.3.4生(高屋)



すずき  
鈴木 ほのちゃん  
H24.3.17生(石渡4)



たかはし らいむ  
高橋 來夢くん  
H24.3.12生(安原2)



くどう まなと  
工藤 愛士くん  
H24.3.31生(取上1)



こばやし こうが  
小林 煙芽くん  
H24.3.13生(原ヶ平2)



さとう ゆうま  
佐藤 優真くん  
H24.3.9生(城南5)



おだぎり そうじ  
小田桐 蒼司くん  
H24.3.9生(撫牛子3)



いしやま まこ  
石山 真子ちゃん  
H24.3.24生(自由ヶ丘1)



しばた はる  
柴田 羽琉くん  
H24.3.5生(一町田)



なりた はるおみ  
成田 陽臣くん  
H24.3.26生(一野渡)



さとみ えいしん  
里見 瑛眞くん  
H24.3.20生(東城北2)



すずき とあ  
鈴木 翔空くん  
H24.3.21生(撫牛子1)



おかもと りょう  
岡本 凉羽ちゃん  
H24.3.3生(城西3)



くどう しどう  
工藤 獅童くん  
H24.3.22生(八幡)



ふくだ はやと  
福田 颯斗くん  
H24.3.6生(岩賀2)



さとう さき  
佐藤 彩妃ちゃん  
H24.3.14生(外瀬1)



あだち ひいろ  
安達 光彩くん  
H24.3.12生(泉野1)



かいばら むうと  
貝原 夢羽くん  
H24.3.8生(塩分町)



おおたか えいすけ  
大高 瑛祐くん  
H24.3.29生(早稲田1)



きし かずさ  
岸 和希くん  
H24.3.23生(北園1)



いちのへ りくと  
一戸 陸斗くん  
H24.3.14生(新里)



おおせ りゅうま  
大瀬 龍真くん  
H24.3.13生(浜の町西3)



たむら るか  
田村 瑞花ちゃん  
H24.3.18生(一町田)



なりた ひろむ  
成田 拓睦くん  
H24.3.22生(桜ヶ丘2)



みかみ ゆうご  
三上 友護くん(左)・文護くん(右)  
H24.3.1生(番館)

伊勢神宮  
式年遷宮と125社をめぐる旅  
平凡社（別冊太陽）



20年ぶりの「式年遷宮」を迎える伊勢神宮。内宮・外宮から、別宮や摂社・末社まで125社と式年遷宮の行事を紹介。おかげ横丁、河崎、二見、朝熊など、お伊勢参りの町歩きも収録。

## NEW BOOKS COMING UP

イノセントブルー 記憶の旅人  
神永学著、集英社



ペンションオーナーの森川は倒れていた男、才谷を助ける。才谷の不思議な能力に魅せられた森川の「前世」の記憶には、殺人の情景が鮮烈に写し出されていた…。「前世」と「現在」が複雑に絡むハートフル・ストーリー。

夢を実現する発想法  
iPS細胞×はやぶさ  
中山伸弥・川口淳一郎著、致知出版社



iPS細胞の研究でノーベル賞を受賞した中山伸弥と、「はやぶさ」という前人未踏のプロジェクトを成し遂げた川口淳一郎。2人が若い世代へ向けてつづったメッセージと対談を収録。

リンゴの歩んだ道  
富士田金輔著、農山漁村文化協会



世界の国々で栽培され、品種別生産量で世界のトップに立ったリンゴ「ふじ」。世界を舞台にした日本のリンゴ産業を支える技術の背景に潜む知恵とは? 健業を成し遂げた栄光の現場を紹介する。

## 弘前図書館近着図書紹介

おじいさんのしごと  
山西ゲンイチ著、講談社



死んでしまったケンタくんのおじいさんが間違ってたどり着いたのは、ねこの天国。そこで、おじいさんに任されたお仕事は…。ユーモアに新たな世界観を加えた、オリジナリティあふれる絵本。

### 弘前図書館DATA

▽開館時間 平日…午前9時半～午後7時／土・日曜日、祝日…午前9時半～午後5時  
▽ところ 下白銀町（追手門広場内）  
▽休館日 毎月第3木曜日（祝日の場合は翌日に振替）、年末年始、蔵書点検期間  
※3月の休館日は21日です。  
TEL 32・3794

どしどし  
応募を！

## 4月1日号の投稿募集

◎読者のひろばお便りテーマ  
「引っ越し」

…春は引っ越しの季節。慣れ親しんだ街を離れる寂しさ、新しい土地での出会いや住み心地など「引っ越し」にまつわるエピソードをお寄せください。テーマ以外でも構いません。

◎川柳のお題「飛ぶ」

…お題から自由に発想して、一句ひねってみてください。

▼応募方法 次の事項を記入し、3月12日（必着）までに、郵送、持参、ファクスまたはEメールで応募を。

①住所・氏名・ペンネーム（希望者のみ）・電話番号  
②お便りタイトル・エピソードなど（200字程度）または川柳（1人一句まで）

※なお、応募多数の場合は、採用されない場合もあります。  
▼問い合わせ・応募先 広聴広報課  
広報係（〒036・8551、上白銀町1の1、市役所2階、窓口258、☎35・1194、ファクス35・0080、Eメールkouhou@city.hirosaki.lg.jp）

四捨五入楽しいことだけ受け入れる  
浴場の樽床屋で受け答え  
喜寿越して感謝状受け面映ゆし  
受け継いだ母の味付け娘が守り  
返盃を受けた貴方の才ヨコぐち  
神さまが受けた願いを仕分け中  
ポンポンと捕手のミットが小気味良い  
禁酒して受けける健診ごまかし体

雪椿  
佐々木巖  
野原敏昭  
千葉麗子  
福士昭二  
榎本夢  
豊田麗子  
まや慕情

今月のお題  
「受けける」

選・広聴広報課

変顔が受けると知った二歳半  
煽てられ嫌な役割り引受ける  
アイラブユー真に受け鍋の蓋になる  
懐しき故郷訛り受話器から

子ら怒る子の雪玉を受け入れる  
御祓を受ける不安を自信にす

とりあえず受けたがあとは関せず  
受診率上げて弘前長寿の市  
安ベルト搭乗検査受けるはめ  
片麻痺に受ける激励家族愛  
野菜高ガソリン高にも受けて立つ  
木の芽吹く紅の夢受けて発つ  
入試受ける夢に90才の大はしゃぎ

稻見格  
和代リーノ  
阿部治幸  
山口石三  
風来坊  
高橋俊逸  
藤代俊治  
内海藤子  
鎌田三窓  
長利順子  
成田輝光  
向井成田

※川柳は、すべて応募者の表記にしたがっているため、一部当て字などで表記する場合があります。

## 行事食に乳製品を取り入れた一品 彩りちらし

弘前市食生活改善推進員会

チーズのコクとさっぱりとした酢飯でおいしさアップ。ほのかな赤は、パプリカをすりおろすことで発色します。

材料（2人分）

ごはん…300g（丼ぶり1杯）  
スキムミルク…小さじ2  
きゅうり…1本（80g）  
プロセスチーズ…40g  
卵…1個  
パプリカ（赤）…40g  
酢…大さじ2  
※砂糖…大さじ1  
塩…小さじ1/4

①卵はゆでておく。また、※の調味料を混ぜ合わせて合わせ酢を作つておく。  
②きゅうりは1～2mmの厚さの小口切りに、チーズは5mm角に切る。また、ゆで卵は乱切りにする。パプリカは種を取り除いてすりおろし、残った部分はみじん切りにする。  
③ボウルに温かいごはんを入れ、スキムミルクとパプリカ、①の合わせ酢を加えて木べらでまぜる。温かいうちにきゅうりとチーズもまぜて味をなじませる。  
④皿に盛り付けてゆで卵をちらしたら出来上がり。



■1人分の栄養価 エネルギー／412kcal、タンパク質／14.2mg、脂質／8.8g、カルシウム200mg、塩分／1.5g

さらつと一句・川柳





# ちょっと気になる “広報”のはなし

皆さんお普段、何気なく見ている広報誌。ここでは、広報ひろさきのことを少し紹介したいと思います。

## 2 特選を受賞 県広報コンクールで

県広報広聴協議会主催の2013年県広報コンクールの入賞作品が決まり、昨年の「広報ひろさき」8月1日号が広報紙部門で総合1位となる特選を受賞しました。新市発足後としては初の受賞となります。また、組み写真の部、一枚写真の部でもそれぞれ奨励賞を受賞しました。

特選を受賞した8月1日号には「子育てのミカタ」と題した6ページにわたる特集記事を掲載。特集の紙面構成や各コーナーごとの色分け・レイアウトの見やすさ読みやすさなど、総合的な完成度の高さが評価されました。



←昨年8月1日号の表紙と特集の紙面

- 非常によくできている。高齢者を考えると目次と見出しを付けたほうがよい
- 弘前の情報がない中、貴重な情報となりとても重宝しています
- 子どもたちのいろんなクラブ（野球、陸上など）を紹介するのもよいと思います
- 高齢者が少しでも外へ出たいと思うイベントを考えてもらえば幸いです
- 弘前市への愛情を感じさせる編集になっている
- いつも役に立つ情報助かっています
- 介護保険福祉の具体的な施策の動向を載せてほしい
- 以前のような右開き、縦書きのほうが見やすい感じがします
- smile通信がとても楽しみです。カワイイ子どもがたくさん載っているのを見ると癒やされます
- 新たに市民になった人も多数居住しているので、弘前の歴史や新スポット、伝統行事、伝統料理など、より充実した紹介を希望します
- 各町会の抱える問題と解決策等について取り上げてほしい
- 弘前のいいところを再発見できてとてもいい。県外にもアピールしてほしい

## 1 配布について

広報ひろさきは、市民の皆さんと行政をつなぐ重要なツールとして、行政情報をはじめとする身近な情報をお届けしています。発行は、1日号と15日号の月2回で、各町会を通じて配布。町会には、発行日の2日前にはお届けしていますので、早期の配布にご協力ください。なお、アパートやマンションなどで、管理人や代表となる人がいて、ほかの入居者にも配布してもらえる場合、その人にまとめて郵送しているところもあります。何人かで組（グループ）を作っていただければ、代表の人にまとめて郵送しますので、広聴広報課広報係（☎35・1194）へご連絡ください。

このほか、広報ひろさきは、市の主な施設や市内の金融機関、郵便局、スーパーマーケット（カブセンター各店、ベニーマート、マックスバリュ各店、ユニバース各店）などにも備えてあります。また、市ホームページにも掲載していますので、ご利用ください。

## 3 読者の声

読者である市民のさんは広報ひろさきについてどう思っているのでしょうか。これまで寄せられたご意見・感想の中から、一部を紹介します。

広報担当では、皆さんから寄せられた意見をよりよい誌面づくりのために生かし、今後も分かりやすく、より多くの市民の皆さんに愛され親しまれる広報誌づくりに取り組んでいきますので、皆さんのご協力をよろしくお願いします。

- 広報が若返っている情報が盛りだくさんになって読むのが楽しみになりました。これからもより多くの情報を届けてください
- 広報の役目だけでよい。あまりにページ数が多く、どこが大事か分かりにくい。周りの人たちも見ないと言う人が多い。子どもの写真とか、市内の子どもなら仕方ないが一部の人だけとか必要ない。税でやっている事業は効率を考えてほしい
- 新しい広報になってから堅苦しさがなくなって、小学生の息子も目を通すようになりました。市内の小・中学校の特色紹介もあったらいいと思います
- デザインが変わったことにいまだになじめずにいる。適度な硬さも残しておいてほしい
- 市職員の紹介とか、毎月一人ずつでも写真を入れて載せるのも良いかも
- 「ひろ♡レポ」のコーナーが大好きです。たか丸くんをもっと登場させて
- 市民から寄せられる質問や提言が多数あると思われるが、その中には多くの市民が疑問に思っていそうな事柄や参考にすべき意見もいくつかあるはず。それらに関する記事を広報に掲載されることを望む

